(十五日夕刊)(第三版) 大正四年十月十六日 THE KEIJO NIPPO 第二千九百十三號(一) (明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可)

# 京城日報

## 列强大戰

### ▲葡國援助

葡萄牙は英國と特種同盟條約を結び必要を生ずれば何時にても援兵を送りダーダネルス攻撃中なる聯合艦隊の力を割かしめざらんが爲め其艦隊と陸兵を勃牙利の領海に派遣す可し(倫敦電報)

### ▲全部封鎖

聯合艦隊はイージアン海に面せる勃國港灣の全部を封鎖せり(紐育電報)

### ○英國と佛外相

最も敏腕の聞えある佛國外相デルカツセ氏が病氣の爲め辭職せるは倫敦にて大に遺憾とせられ居れり首相ヴイヴイアニ氏外相を兼任す可し又消息通の談に據れば將來カムボン氏外相に襲任す可し(倫敦電報)

### ○請願公表

國體即決要求

十日附の各蒙古王陸海軍人巡警等の國體即決要求請願書は十三日政府公報にて發表されたり(北京特電)

### ○袁總統訪問

十三日午後四時袁總統は國務卿徐世昌氏の病床を訪ひたり一説に據れば國務卿は楊士琦か陸徴祥か孫寶琦かが一時代理す可しと(北京特電)

### ○張巡按使辭表

十三日命令出で巡按使張明岐が父病氣の爲め辭職を乞ひたるも許されず休暇を與へられたり(北京特電)

### ○支那大官一行

二十七師長張作霖其他の支那大官二十餘名十五日夕刻安東縣通過京城に向ふ(安東縣特電)

### ○臺灣民政長官後任

内田臺灣民政長官は未だ正式には辭表を提出せざるも辭任の事は既に確定し居り其後任は朝鮮在任者中より擢拔せらる可く目下交渉中なりと聞く而して辭任の原因は總督と意見の一致を缺けるに由ると(東京特電)

### ○スターヂ博士

我皇室に聖書を捧呈せしスターヂ博士は十五日午前内地より釜山著直に汽車にて京城へ向ひたれば同夜南大門驛に著す可し氏は朝鮮各地の布教視察の目的なりと(釜山特電)

東京發別電

### ○勃國港灣封鎖

英佛聯合艦隊は勃國の港灣封鎖を宣言せり

### ○獨帝の塞國入

獨帝カイゼルは塞爾比亞に入り親ら獨墺軍を指揮す

### ○對支態度審議

支那に於ける帝政實現せられ萬一支那國内に變亂勃發するが如き事あらば我帝國の蒙る影響甚大なるものあるを以て之に對する態度に關し内閣に於ては對支態度に就き審議中なり

### ○賜饌と服裝

御大禮の際各地方に於ける賜饌の際官吏以外はフロックコート著用を允許せられたり

### ○瀆職公判延期

高松地方裁判所に於ける瀆職事件公判は辯護士の都合にて御大禮後に延期せらる

### ○露國大官來らむ

日露同盟實現に努むる爲め近く露國大官の來朝を見るべしとの噂あり

## ●御眞影奉戴式

十五日總督府に於て

今回宮内省より御下賜相成りたる五十五枚の御眞影は既記の如く十四日午後九時杉原顧問外一名慇懃の下に南大門驛著、出迎への係員奉仕して直ちに總督府第一會議室に奉安せるが越えて十五日午前九時より壯嚴なる奉戴式を擧行せり、此日寺内總督、山縣政務總監、各部長官以下府内各高等官は何れも禮裝に威儀を正して總督府第二會議室に參集すれば、兒玉總務局長恭しく幕を上げ一同最敬禮裡に閉扉、順次退出して本府の奉戴式を了るや、午前十時より檜垣道長官以下各道、府、主なる學校職員等同室に參集し、其れ〳〵御下賜の御眞影を奉戴して午前十一時全く式を閉ぢたり

## ●獻穀納受式

大嘗祭獻穀納受式は十五日午前十一時より總督府第二會議室に於て擧行されたり、獻穀者たる川崎藤太郎、崔在璟、富田儀作、金忠熙の四氏附添諸員と共に入場白木の唐櫃に納めたる獻穀を納臺上に奉安すれば寺内總督は山縣政務總監をはじめ農商工部長官代理中村技師、宇佐美内務部長官、人見慶務課長、澤田第一課長耕作監督技師、關係諸官等を隨へて臨場し設けの席に著く、斯くて耕作者總代富田儀作氏進むで進獻を請ひ耕作狀況申告書を捧呈すれば總督は之れに對して納受進獻の告辭あり總督、政務總監の退場に次いで係員は獻納穀を捧げ所定の場所に納めて茲に式を了へ一同退出したり

## ●支那來賓日程

退京は二十一日

支那派遣員金慶商次長一行(北京)張二十七師長一行(奉天)張參謀長一行(吉林)馬鎭守使一行(安東)等三十三名は十六日午前八時四十分南大門驛著の特別列車にて入京す可きは既記の通りなるが滯京中の日程左の如し

十七日 午前總督訪問、共進會觀覽 午後同上、夜七時より龍山官邸に於ける總督晩餐會に臨場

十八日 午前各學校視察、午後昌德宮秘苑觀覽、夜朝鮮銀行、三井物產、東亞煙草會社の合同晩餐會に出席(場所未定)

十九日 午前午後を通じて各學校、濟生醫院、總督府醫院、工業傳習所、蠶島模範場を視察、夜居留支那官民晩餐會に臨席(場所未定)

二十日 午前仁川に赴く、夜朝鮮ホテルに於ける山縣共進會事務總長の晩餐會に出席

廿一日 午前南大門驛發汽車にて退出

## ●支那大官招待

十六日午前八時四十分南大門驛著の特別列車にて入京する農商部次長金邦平氏、第二十七師長張作霖氏外二十二名に對し京城協贊會にては同日正午共進會内交泰殿なる貴賓室に於て午餐を饗應し歡迎意のを表する由なりと

## ●鐵道局上旬營業成績

朝鮮鐵道局十月上旬營業成績を見るに乘車人員十九萬九千六百八十三人小手荷物斤量三十五萬九千七百十斤貨物噸數四萬百二十八噸にして之を前年同期に比較するに乘車人員に於て三萬一千五百八十一人を小手荷物斤量に於て六萬四千四百四十六圜を貨物噸數に於て一千五百二十一噸の激增を示せり而して之が總運輸收入は二十六萬八千六百十四圓にして内客車收入十五萬七千三百五十七圓貨車收入十一萬一千二百五十七圓なるが之を前年同期に比較するときは客車收入に於て五萬五百七十七圓を貨車收入に於て二萬七千八百九十八圓合計七萬七千八百七十五圓の增收を見たり尚一日一哩平均は二十六圓六十九錢にして七圓五十錢の增收なり

## ●牛價暴落と戰亂

平安北道厚昌郡地方にては昨今牛價昨年に比し約五割の暴落を呈し居れるに反して牛皮は非常に騰貴し約三倍の價格を以て賣買され居れり即ち昨年三十圓上下の牛は當今十六七圓となり牛皮は昨年三圓位のもの八圓乃至十圓となれり江原道にても通川鐵原兩郡の如き二歲牛とて二十圓内外に稱へ而かも牛皮は生皮一斤三十錢にて買擱き一頭の皮六十斤内外に達するを以て殆んど牛價に均しきものあり爲めに牛肉を安價に賣るも尚利益多きより昨年に比し約三倍の屠殺數を示せるが是れ戰亂の餘波の生じたる奇現象ならんと

## ●十五艇隊觀覽

十四日第十五艇隊の水雷艇四隻仁川港に入港せるが右四隻は機械設備最新式のものにて水雷艇に關する知識を得るは最も好時機にて先方に於ても觀覽方希望し居れば此の際振つて觀覽す可きなり因みに右四隻は二十三日迄仁川港に碇泊の事にて尚目下碇泊の場所は稅關棧橋下の内港なれば觀覽には最も便利なり

## ●隊署長會議(第三日)

京畿道警務部に於る管内隊署所長會議第三日は十五日午前八時より開會、管内狀況報告諸項事項等ありたるが當日は立花總長赤角水谷諸部長等列席せり

## ●德富監督來電

天候人事兩つながら豫定以上の好都合にて外金剛内金剛に至るまで其の秩上の光景を最好の季節に飽くまで觀賞したり今夜末輝里に一泊明十五日午後五時二十二分著汽車にて歸京すべし(十四日午後九時三十分末輝里發電)

## ●松寺檢事正晩餐會

京城地方法院檢事正松寺竹雄氏は警務部に於て開會中の道内各隊署長の入京し居るを機とし高等法院長司法部長官を初め在京の司法事務に關係ある警務總監部立花總長以下各課長司令部副官高等法院部長檢事覆審法院長檢事長部長檢事書記長地方法院部長判事檢事局書記京畿道長官警務部長警視等約八十餘名を十六日午後六時半より京城ホテルに招待し晩餐會を催すべしと

## ●京城中學校武道大會

京城中學校にては十六日午前八時半より第三回武道大會を開催する由當日午後一時よりは多數外來者の試合ある筈なれば定めし盛況を呈することならん

## ●中管觀察團來鮮

鐵道院中部管理局主催の觀察團二百四名外幹部六名は十五日朝午前六時半關釜連絡船にて無事釜山上陸來鮮せり因に觀察團長は代議士横山鐵三郎氏也

## ●岩崎男下仁

岩崎男爵十五日午前十時來仁の上水族舘觀覽其他の視察をなしたり

## ●德富監督著京

本社監督德富猪一郎氏は金剛山旅程より十五日午後五時二十二分著南大門驛著入京旭町一丁目の靈吾處に入れり

## ●共進會入場者

十四日(木曜日、晴)

▲晝間 一萬一千六百四十二人

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内地人 | 二、一九六 | 其他の外人 | 三七 |
| 朝鮮人 | 七、四一六 | 無料者 | 一、九五四 |
| 支那人 | 三九 | | |

▲夜間 六千二百六十七人

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内地人 | 二、〇二〇 | 其他の外人 | 二七 |
| 朝鮮人 | 二、七五九 | 無料者 | 一、四二六 |
| 支那人 | 三五 | 團體 | 三、四八五 |

合計 二萬一千二百九十四人

開場以來累計 五十七萬九千四百二十五人

## ●鯨と海龜の標本

仁川水族舘の鯨は死せる爲め仁川女學校に寄附し剝製する事となり尚十三日南洋より到著の海龜も十四日死せる爲め之も同校に寄附したるを以て標本と爲す事となりたり

## ●西比利亞急行車遲著

十五日九時南大門著の鮮滿直通列車に接續すべき西比利亞本線急行列車は哈爾賓に約八時間延著したる爲め鮮滿直通列車は不接續の儘發行せり從て長春驛よりは列車を特發せりと

### 人事消息

▲矢作榮藏氏(東京農科大學教授兼法科大學教授法學博士)農會出席の爲め入京大和町三井孫氏宅へ

▲織田丁氏(代議士) 滯京中の處十五日朝退京歸東

▲河東乘五郎氏(理事官) 臨田非川主計監と共に二十七日頃金剛山へ向ふ豫定

▲北里柴三郎氏(醫學博士) 十四日朝發山より内地へ

▲井野口少將(第二旅團長) 同上

▲岩崎男爵一行 十五日京義より入京朝鮮ホテルへ

▲松波醫學博士 同上

▲上田恭輔氏(滿鐵秘書役) 同上

▲武宮三省氏(天安支廳判事) 同上旭旅館へ

▲金井久兵衞氏(富山商業會議所副會頭) 同上浦尾へ

▲菊池廣氏(總山土木局技師) 同上不知火へ

▲八田吉平氏(咸北技師) 同上

▲江浦好次郎氏(全北苗圃講習所長) 同上横粒舘へ

▲赤尾虎吉氏(法學士辯護士) 訴訟用へ帶び旅順へ旅行中の處十五日午後七時半歸京

▲小松原英太郎氏(東洋協會長) 十五日朝退京群山へ

## 南言北語

巴爾幹も愈々大戰爭になりかけた獨墺は何處迄も搔き廻すのだから溜らない▲塞國も第二の白國になりかゝつて居る▲乃で鳥渡巴爾幹最近の形勢を云つて見ると▲先づ獨墺の大軍は三手に分れて眞ツ先に進んだのが多瑙河を渡つて塞國に侵入しベルグラードを占領し▲第二番目の大部隊は墺、羅、塞の三國々境のオルゾウアに向て何時何の國へでも突入する準備で南下し▲最後の大部隊は墺、羅國境のクロンスタットに來て羅國の行動を窺つてゐる▲背後に此の大軍に監視されつゝある羅國は板挾みで今の處順應流で所謂武裝的中立▲だが武裝した大軍に向つて自衞の態度を取つて居るが何時迄續くのか▲露國軍艦は黒海からヴアルナチを砲擊して居る▲土軍は勃軍を援助せん爲北上勃國に進み▲サロニカ上陸聯合軍は二手に分れて一隊は希勃國境のドラマを越えて勃國に突入せんとし▲一手は希塞國境を越えて塞國應援に進んで居る▲聯合艦隊はイージアン海を封鎖して大戰機は時々刻々に進展しつゝある▲乃で第一番目の太衝突は勃塞兩國の地方で始まる▲首尾能く聯合軍が勝てば其れで好いが敗けでも仕樣ものなら大變▲潮の樣な獨墺軍は一氣に南下する▲さうするとガリポリ半島の聯合軍は逃げようにも逃げられぬ事になる▲流石沈著を以て鳴る英人も今度と云ふ今度はヒヤ〳〵して居るらしい見物人迄冷汗が出る▲朝鮮銀行で月報附錄として獨亞銀行の事を發表した▲さうすると香港の總領事館から獨亞の定款が手に入らないで困つて居るから一部送つて呉れと懇願して來た▲すると又た靑島軍政署からも長文の電報で何うか其の一部をと云つて來たオヤ〳〵〳〵私の方からお聞申すが當然だのに。それは〳〵恐縮千萬

謝韓男爵刪手栽盆菊　無佛陳人

盆裏移來見苦辛。陶家遺愛更加新。爲憐孤客分秋色。看取一番情味眞。

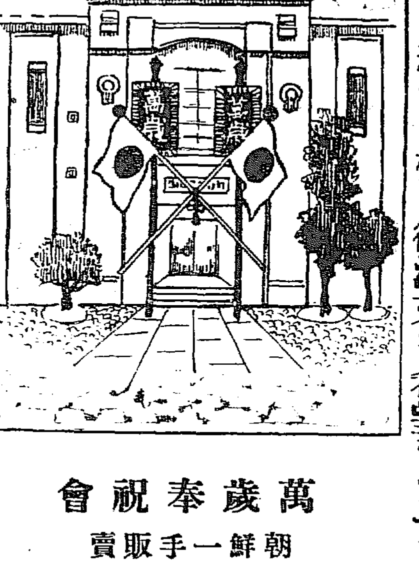
朝刊と合せて八頁

定價 紙代 一部金二錢 一ヶ月金六拾五錢 … 廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 …

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 樋口政太郎

## 萬歳旛頒布定價表

| 略號 | 名稱 | 品種 | 調製概略 | 寸法(曲尺) | 一流の價格 | 郵送料 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| い | 奉祝掲揚旛 | 甲 | 金巾製捺染金文字釣金具付 | 巾一尺六寸 長三尺二寸 | 六拾錢 | 十二錢 |
| | | 乙 | 同 兩面上製 | 巾一尺六寸 長三尺二寸 | 一圓十錢 | 十二錢 |
| | | 丙 | 綿絹交織豊錦金文字釣金具付 | 巾一尺六寸五分 長四尺 | 五圓 | 十八錢 |
| | | 丁 | 純絹別織同上 特製 | 巾一尺六寸五分 長四尺 | 八圓五十錢 | 十八錢 |
| | | 戊 | 同 特別製 大形 | 巾三尺 長八尺 | 三十圓 | 三十錢 |
| ろ | 記念掛額 | | 純絹羽二重製金文字 | 巾五寸六分 長一尺二寸二分 | 五十錢 | 三十枚迄 拾二錢 |
| は | 奉祝佩用旛 | | 純絹羽二重製鍍金ピン付 | 巾一寸三分 長二寸七分 | 二錢 | 八百枚迄 十二錢 |
| に | 奉祝小旛 | | 金巾製捺染白文字 | 巾七寸五分 長一尺三寸 | 四錢 | 六十枚迄 十二錢 |
| ほ | 特製 劒付塗竿 | | 黒塗千段巻竿銀色劒付 | 長五尺五寸 | 一本 一圓五十錢 | 十八錢 |



御大典の期日切迫して參りました、千載一遇の御大典には必らず此萬歳旛を掲揚して奉祝せねばなりませぬ時機を逸せぬ様に御注文を希望します

萬歳奉祝會

朝鮮一手販賣

京城日報社代理部

振替京城三〇〇番

新製品大賣出

兩切捲煙草二十本入

金貳錢

大共進會記念として發賣したる兩切煙草一圓票は一般の人氣沸が如

◎一本の煙草に勞苦を忘れよ。

◎一本の煙草より大理想を發見す。

◎一本の價僅に一厘也

廣江商會

大阪五節二十三 錢と安移り

市場零聞

▲前場の商戰

▲愈々下げ避る

仁川米豆取引所

# 三重號名殘の飛行
## 市民歡呼して尾崎氏の勇姿を迎へん
### 十六、十七兩日京城空際の壯觀

尾崎行輝氏が輕微な風邪と聞いて大丈夫とは思ひ乍らも今日の飛行如何と氣遣つて居た處朝晴れの

□爽かな秋天 拭ふが如き碧空にプロペラの響勇しう聞えて十五日午前八時五十分頃京城の中空を自由自在に翔ける三重號の雄姿、朝日に照り映えて白銀を鍍めたる大鵬の如く輝くを見た時、滿都の市民は思はず

拍手喝采、歡聲を發して

之れを迎へた、此日龍山飛行場では京城測候所から高層觀測の報告がある、飛行差支なしとあつて瀧柳尾崎兩氏三名の工手以下人夫を督して三重號を場の中央に運び、エンジンの試驗を爲すこと數回豫定の通り力を得て尾崎氏機上に上るや滑走七秒にして八時四十四分離陸漢江々上から南山の高空に出で七百メートルの高度を保ちつゝ

□京城を一週し共進會の上空に出で二百メートルの低空飛行を試み、觀客歡呼の裡に之に向ふこと三度、滿場上下に翼を振りて又一周西南の上空より龍山飛行場上空に歸り空中滑走を爲して、午前九時十五分無事着陸した、その飛行時間三十分、尚ほ明十六日は協贊會の諸氏を龍山飛行場に招じ着陸、滑走、低空飛行等の

□實際を觀覽に供し、飛行後尾崎行輝氏自ら説明もする、後は十七日協贊會興式當日の京城訪問飛行あるのみ、斯くて名殘ある三重號の京城訪問飛行もかくて十六、十七の兩日を餘すのみとなつた

# 驚く可き進歩
## 改良されつゝある朝鮮畜産
### 鷄―牛―豚―鶩鳥―家鴨―山羊

共進會見物に行つて見落してはならぬ物でつい迂濶に見遁すものがある、その一つとして東拓館の裏から

■噴水池の 向ふ側に至る一劃を忘れてはならぬ、其處には人の眼を奪ふ樣な建築と裝飾の美も無ければ、巧妙を誇る陳列の新機軸、その精緻の驚歎に値する樣な模型も無い併し金網の鷄舍の中に聲高く鳴く白色レグホン、横斑プリマウスロック、名古屋コーチン、白色プリマウスロツク、カンピン、其他朝鮮種、雜種等五十九羽の鷄の優良種が多く各地方の朝鮮人の名で出品され如何に朝鮮の養鷄業が近年著しい普及と進歩を示せるかを生た貨物に依つて見せて居る、朱の柱鮮かな

■迴廊の前 に行けばホルスタイン、エーアシャー等の乳用牛、朝鮮種各道の優良牝牡牛等四十頭が偉大な體を柱に繋がれて溫和らしい眼付で客を迎へる、南側には山羊が五頭、その中の一頭はザーネン種、その隣には豚が二十頭のバアークシエヤ種や雜種が朝鮮の各地方から送られて來て居る、別に池の中には鶩鳥が二羽家鴨が二羽―之れ等の家畜と家禽は農家の副業として獎勵されてゐるもので優良種の蕃殖には各道出來る丈の手段を盡して居る、その結果が何等の僞りも虛飾も無くこゝに曝露されてゐる處に他の陳列に於ては見出し得ない價値が存するのである

# 山奧から
## こんな美事な食料品を産す

全朝鮮の物産を網羅した共進會出品に白頭山麓の片栗粉が見えるのも面白い、片栗粉は主に咸鏡南北道の山奧から製造されて居る、殊に

▼咸北の 漁津とか咸南の甲山、三水、豐山、長津等の方面の如きは目下盛んに片栗粉の製造を營み道內は勿論遠く平安北道地方、京城方面、或は內地方面にまで移出しつゝある有樣である、惜むらくは南鮮地方の人から見れば一顧に値せぬやうなれどもあの土地磽确な咸鏡道の山奧、しかも

▼白頭山 麓一帶の土地から斯る產物が出るかと思へば新政の恩澤が往時の人跡未到の地にまで及び且つ又一般山奧の鮮人に至るまで大に覺醒して來た事を思はずには居られない、元來咸南の山奧甲山三水あたりから咸北の茂山邊は往々白頭山

▼探險家 が通過して驚く如く住民は大古のまゝの野生であつて食料は燕麥や馬鈴薯の如きものを採つてゐる、又彼等の使用する器具は營林廠特設館內に見る如き原始時代のそれに等しき木製のもので總ての生活狀態がわれ〳〵より別なものであるに拘はらず恁麽純良な片栗粉を製造するとは

▼面白い ことである、又此の馬鈴薯は咸鏡兩道到る處に分布してゐるが殊に海拔四千尺の甲山、三水、長津、豐山あたりから出るものは品質が非常に優れてゐる、これはむかし此の地方の浦潮出稼人が隣潮種の馬鈴薯を持ち歸つてから擴まつたものでそれが咸鏡道の地味には頗る好適して茲に特有の品種を作つたものであるといふ、其の

▼産額は 咸鏡南道のみで四十三年の九百萬貫から一躍大正三年の二千二百二十八萬貫に上つてゐるのも心强く、そして値段も頗る廉く調味も頗る美事である

# 外相夫人戰時の巴里を語る
## 花の都も此頃は火の消えたやう

新任外相石井男爵夫人玉子、令孃嘉代子(一九)の二人は十二日午後二時その乘船が神戶埠頭に入港すると同時に遞信部の小蒸汽で米利堅波止場に上陸直ちに馬車で東京から小池政務局長に伴はれて出迎に來た令息太郎君と同乘して諏訪山の西常盤に入り少憩、奥八疊の間で記者を引見することゝなつて、暫く待つてゐると

□紺地の洋裝に□ 同じボンネットを戴いた夫人が令息太郎君の手を引いて其後から卵色の美しい洋裝に之れも赤薄色のボンネットを戴いた令孃が靜かに出て來られた、流石は御大

禮の華やかな殿堂に外務大臣の夫人として立つその出來る誇りは小さな胸に包むことが出來ず、其の御顏の色に浮んでゐるのが窺はれる、夫人は靜かに語り出す『妾達ですか丁度三年間彼地にゐました、流石に流行を追ふ巴里でも戰爭以來著しく其の影を失ひました、もう此頃では巴里の到る處

□喪服に包まれ□ た若い婦人が澤山往來してゐるのに驚かされます妾は一週間に一度は廢傷病兵を收容してゐる病院の慰問に出かけて行つたのですが其度に新らしい澤山な負傷兵が增えて行くのに痛ましい心を起さずにはゐられなかつたのです、戰爭が生んだ婦人の職業 それは止むなくさうなつたのですが大抵な勞働に殆んど婦人の姿を見ないものはない位です、電車の車掌などはもう古く今では馬車の馭者にもなつてゐる婦人が澤山あります、これが二年も前の巴里に立還つて考へたなら到底想像も何も付いたものではなかつたでせう

□華やかな巴里□ の街は夕へ戰爭の大勢が盛返されたといつても却々悲しい病ましい暗い影は容易に回復されるやうなことはないでせう』と話が稍沈つて來た、『アノ御大典が京都で擧行されることになつてゐるのですネ、妾が外務大臣の夫人として參列する、まアそんなことは何うか解りはしませんですよ、當てのないのに何うして參列の衣裳を拵らへて來たかと、そんなことを貴君』と流石に外交界の中心で仕上げて來られた應對振り爽やかなものである(實際生)

# 家庭博覽會
# 李埈公殿下の觀覽
## 深く嘆賞せられ數々の御買上品あり

家庭博名譽總裁李埈公殿下

家庭博名譽總裁李埈公殿下には秋の日も麗らかなる十五日午前十時金武官李事務官を隨へ家庭博を御觀覽遊ばされたり、殿下には臨場□□□□しく御觀覽あり、一品毎に□□□□十人前の料理をなし得る臺所には……ばされたり殿下には

■陸軍中將 の御服を召されて阿部本社長の御案內にて階上三號館より一號館を御詳覽ありたり、御趣味深く殊に東京に永く御留學あらせられ下情に通じさせ給へる

■殊に御目 を留められ、種々御尋ねありたり、其より階下の四號より五號館の小兒の躾方、嬰兒の抱き方負ひ方等を一々御覽に相成りたる後、貴賓室に入り暫時御休憩あらせられ、家庭博は實に豫想外の出來榮になりと我社の

■成功を祝 され其れより日本の臺所の便利なることより料理の話は却々に御詳しく鹿兒島の薩摩汁、牛肉は神戶に限り魚は葉山と明石附近のもの最も味ふべく殊に明石須磨の邊りの風光の明媚なる今尙忘るゝ能はずと御話しは益々興深く斯くて御少憩の後、本社工場の輪轉機及び鑄造場を御觀覽あり、新聞製造の次第を詳しく御聽き取りの上

■殿下には 我社の工場員中內地人比較的少く多くの鮮人が孜々として活動せる樣を御覽ありて日鮮融和の實を擧ぐるもの洵に斯る所に端を開くものにして此の風を益々盛んにせざるべからずと深く欽稱せられたり、斯くて工場を御詳覽の後十一時御歸邸の際に相成りたるが家庭博賣店中山太陽堂の倶樂部化粧料、平尾のレート化粧料、大塚の金鶴香水、森永のミルクキャラメルの四品は御買上げの光榮を蒙ひたり

# 神輿渡御は午前九時から

十六、十七、十八日の京城神社秋季大祭に市中は各種の催しを爲し、共進會の賑ひに一層の盛況を添ゆることは既報の如くなるが十七日龍山渡御の神輿、京城神社發輿は午前十時の豫定なりしも、龍山御旅所御着の時刻に遲るゝ爲め一時間繰上げ午前九時の發輿となしたりと

# 蓄音器が當つて萬歲
## 景品が次第に增ゑて來る

十五日の家庭博が朝の九時開館すると同時に入場した開城の公立普通學校の生徒十二名が一團となつて十二本の籤を抽いた中に蓄音器の當り籤を居たので生徒等は狂せん許りの喜びで景品引換所に行つて蓄音器を貰うて又大喜び、生徒は蓄音器を胴上げをして萬歲を三唱すると云ふ騷ぎ、其れから

一等から四等までの本景品は別項當選欄にある通り隨分出たが最も能く出たのが藝妓券朝から十時までに五本も出たが不思議にも男子計り、困つた顏をする人もあれば喜ぶ人もあつて景品引換場は却々の繁昌、金照吾と云ふ鮮人味噌一樽を當てゝ大喜び、自分と擔を擔いで歸つて居たのは滑稽の內に愛嬌あり、ステッキを當てゝ喜ぶ學生があれば九谷燒を當てゝ之れは好いものを當てましたと喜ぶ奥樣もあり日を重ぬるに從つて景品の出が次第に好くなつて來る

## 家庭博景品當選者
（十四日午後二時より十五日午後二時まで）

△一等(四圓)龍山鐵道官舍田中絹子△農商洞李某△明治町秋元常藏△二等(三圓)龍山元町與山つい△大邱本町西村光惠△中日高等商業學校德次△中北沃川驛前橋本新開店△吉野町井毛尾きくよ△三等(二圓)開城金常裝△西小門外後藤商店△旭町三丁目北山嘉一△鍾路郵便局ぬい△土城鐵道官舍大田たに△西大門外額賀榮子△四等(一圓)龍王寺鐵道官舍栽原房一△通義洞安井與二△本町西岡房維△櫻井町道後道市△西大門官舍八坂兵一△京城郵便局鐘△南大門外金文淳二△高陽郡安方皮△南大門外商町由本藤治二△南大門助役清水武△番外味噌一樽高陽郡金興錫△蓄音器開城普通學校生徒團

# ■急告

家庭博の福引的景品の一等より四等までの籤は今日迄に四分の一しか出ませんから未だ殘り籤は四分の三ある譯です其上毎日番外飛入りの米一俵味噌一樽炭酒ビール其他の高價のものが寄贈され日に〳〵殖ゐる一方です

# 家庭博覽會大景品寄贈者

△ステッキ十本　寶店內　金子寶
△野菜切十個　同　柳谷伊之助
△九谷燒盃二十個　同　戶江安之助
△白米一俵　南大門通五丁目　渡邊傳吉
△石炭五噸　南大門一丁目　三國商會
△藝者券三十枚　花月樓
△サクラ麥酒一箱　帝國麥酒株式會社
△櫻正宗瓶詰五十本　京城明治町　山邑京城支店
△手帳五十冊　山邑京城支店

# 京城日報の家庭博 天勝へ花環を贈る

演藝館出演中の天勝に對し京城日報社は家庭博覽會の名を以て美事なる大花環を寄贈したれば十五日夜より舞臺に飾られ紅白紫黃電燈と相映じ絢爛目を奪ふものあらん

# 瀆職事件開廷

延期となりし林田以下の瀆職事件は十一月下旬より十二月上旬の間に開廷の筈(大阪特電)

# 間室大尉有罪

軍器保護法違反にて取調中の元舞鶴要塞司令部副官砲兵大尉間室直義は有罪の判決あり姫路分監に移さる(大阪特電)

■濱造花部の發展 多年東京に於て各種の裝飾意匠造花等に從事して其社界に有名なりし濱霞舟子は今回京城に來り通義洞二五に事務所を設け一般の需めに應ずべしと因に本社より天勝へ贈興したる大花環は同氏の手に成りたるものなり


■定評ある理想的幼年雜誌
監修 巖谷小波先生
幼年畫報
十一月號
幼年世界
定價各十錢 郵稅一錢 東京本町 博文館
■面白くて爲になると天下の公評

名産 平壤栗大販賣
右御小賣共破天荒の勉强可仕候間陸續御下命の程希上候繁店へ御來談御照會被下候はゞ如何樣にも御滿足を與へ精々御便宜御取扱可申上候敬白
萬穀物類 果物類問屋 平壤新倉里四十三番地 朴承德 電 次一一三番

鑛石買入廣告
一、タングステン鑛
一、水鉛鑛
一、マンガニース鑛
一、亞鉛鑛
右現金拂にて高價購入仕候間多少に拘不御來談被下度當分京城長谷町朝鮮ホテル內に止宿仕候
橫濱山下町九十六番 鑛石買入商 ジョージ、アール、アーレン

露西亞物産雜貨一式 歐米洋酒食料品 北鮮産石鍋石器類
元山府仲町 西澤商店 電話四六番 振替京城二七四九

運動具は京城レノサキに有り 秋期カタログ進呈
京城本町二丁目 篠崎運動具店

內科 婦人科 眼科
胃腸、呼吸器、痔、腦、脚氣、淋疾、子宮、難症、產後、諸病、諸症、トラホーム、熱症
京城南山町二丁目 きくや料亭坂下 電話一二二四番
院主 小山亭 三元堂醫院


商況
債券現物特電
朝鮮移産特電
仁川現物市場
天氣は 西の風晴

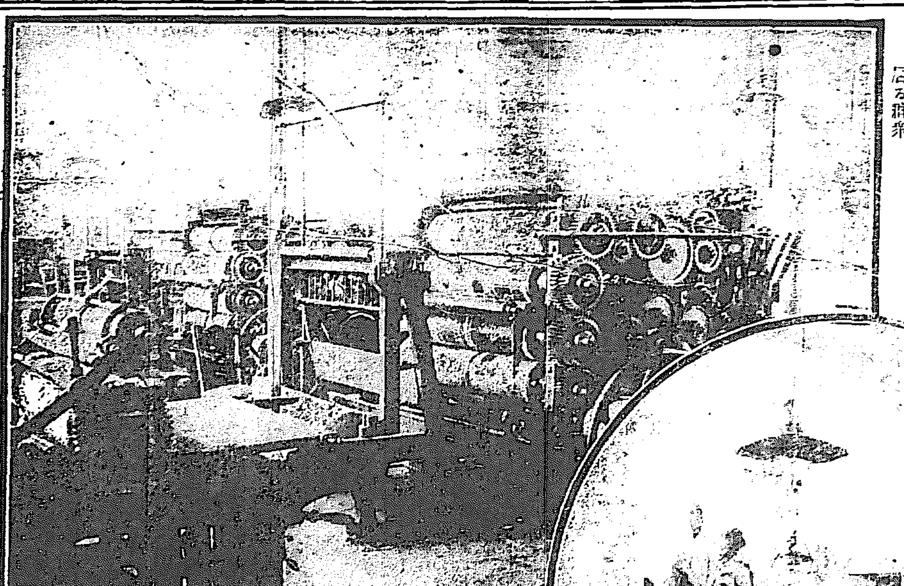
## 清津近海鰐漁

清津近海の鰐漁は例年九月下旬より漸く盛漁期に入るを常とせるに本年は例年より一箇月早く漁期に入り九月上旬より盛んに漁獲あり同月中の水揚高二十五萬貫に達するの好況にて昨今日々一二萬尾宛の水揚あるが今日迄の使用漁具は釣縄にして建網にては未だ漁獲するに至らざりしも近く建網にても漁獲するに至らば漁獲高非常の多數に上るべく近年になき豐漁を豫想されつゝあり而して目下清津近海出漁鰐船は總數三十八隻にして何れも餌料不足の爲め十分の漁獲を爲す能はざれ共餌料充分ならば何程にても漁獲し得べき有樣なり尚ほ相場は漁業者製造人間にて一尾内地人三錢三厘、朝鮮人三錢四厘に契約され總て開鰐に製造する由

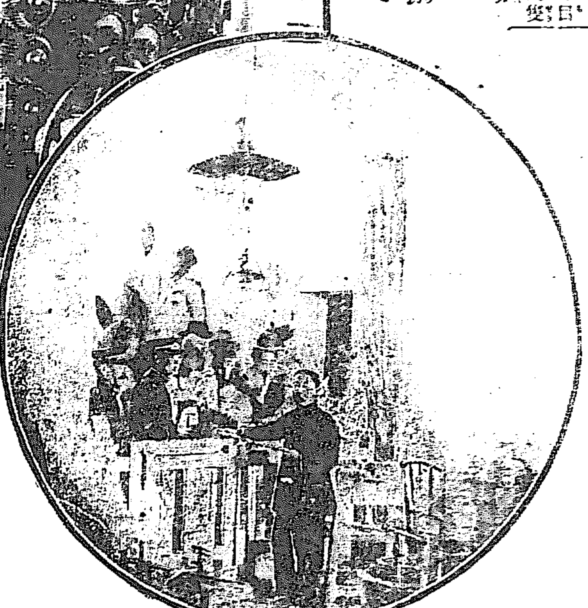
## 木浦 浚渫開始期

本月五日鎭南浦より入港したる浚渫船は目下修繕加工中なれば二十四日修繕終了と同時に作業に從事する豫定にて凡ての準備整頓し居れり聞く所に依れば作業工期は約三箇年間の豫定にて干潮面十二尺を掘り下げ尚幅員も拾餘尺を擴張せしむる計畫なれば僅に千噸級汽船の出入は差支なく唯回轉する場合には幾分の懸念なきにあらざれば是又改めて適當の方法を講ぜらるべく尚ほ入港の浚渫船はプリストマン二臺を有し一日の作業十時間とするも約六十一坪二合の作業を見るべしと

●木浦小學校兒童數　同校兒童數は總數七百十八名にして内男三百九十六名女三百二十二名なり序に同校にては來る二十三日秋季大運動會を同校庭に開催すべしと



家庭博と輪轉機　家庭博入場者の輪轉機見物
(上)本社輪轉機(下)覗いて居る群衆



## 群山より

▲商議會議　群山商業會議所に於ては十二日午後議員總會を開き一、大正三年度歳入出決算報告承認の件二、店員表彰に關する調査委員選定の件三、課金未納者處分に關する件等につき附議する處ありしが一案は承認の決議を爲し二案は中柴萬吉阪上貞信北川醇三氏を委員に擧げ調査を附託し三案は各議員分擔督促する事に議決散會したるが近く一、西濱埋築工事に關する件二、米穀運搬の爲め軌條敷設の件三、新商業會議所設立準備に關する件等に關し議員協議會を開催する.

▲三井男來る　三井男爵は隨員十餘名を從へ熊本利平氏の案内にて十三日午後三時三分着列車にて來群停車場には天野府尹以下官民多數の出迎を受け直に騰車を驅て市内要所を視察し一泊の上翌十四日一番列車にて出發したるが停車場には官民多數の見送り盛んなりし

## 滿鮮境上より

安東縣常盤館

▲滿鐵護岸工事　今夏鴨緑江氾濫の爲め破損せる滿鐵埠頭延長百十五間の護岸工事は工費二萬三千餘圓にて菅原工務所の請負に依り著手中なるが來る十一月下旬に全部竣成の筈也

▲貨物上屋工事　安東驛貨物係の貨物上屋工事は經費一萬四千餘圓にて柴田組の請負に決し昨今準備工事に著手中なり

▲吉田領事歸任　青島方面へ旅行中なりし吉田安東領事夫妻は十四日午後二時海路歸安せり

▲支那官憲招待　連山關守備第四大隊將校一同は十四日午前十時より鳳凰城支那料亭に同地の重なる支那官憲を招待し互に胸襟を披いて懇談する處ありたり

▲村田博士歸安　山東省方面へ出張中なりし採木公司理事長村田鐵の爾氏は十三日夕刻歸安せり

▲大禮奉祝協議　深川新義州府尹は來る十七日同地の重なる官民を府廳樓上に招致し御大禮奉祝に關する協議會を開く筈

▲五龍背温泉好況　朝鮮記念共進會開會以來名士の國境を通過する者多く從つて五龍背温泉の如きも之が影響を受けて昨今好況を呈し居れるが其境の閑靜にして設備の整頓せる點に於て國境通過の旅客に取りては確かに一層の價値ある可し

## 本社主催 全鮮庭球大會

日時　廿四日午前正八時開會
場所　龍山鐵道コートに於て

## 文展の入選者　清州の森岡柳藏氏

文展に入選の新聞を手にして清州春尾旅館に洋畫家森岡氏を訪ふ飛白の袷を規丁直に著て眞面目な商人の樣な容姿をして清州掛手山の夕景を下繪にしたカンバスに向つて刷毛を揮つて居る記者を顧みて坐を薦めて愛想よく語る文展には第七回に午後の町第八回に甘酒を出品して孰れも入選しました今度は格別氣の籠つた作も出來ませんでしたから責任塞げに兒を脊負た子守が編物をして居るのを出しましたが入選しました清州に滯在既に數箇月になります古い部會を毀はして新しく出來揚つた市區改正後の此の新市街は其古い建物と新設物との調和がシックリと合ひ殊に山に圍まれたる平野は何んとなく一種の懐かしみのある住心地の好い所だと思つて居りますと謙遜してか作品に付いて多くを語らず因に共進會第一號館忠北の道勢一斑に異彩を放てる名刹俗離山の實景は同氏の筆になりたるものなり

## 連絡船上陸客

十四日午前入港對馬丸 二三等客　一等(九名)牧瀬五一郎、杉原榮三郎、上野鶴之助、上野三郎、杉原太之助、赤松亭、二等(三十五名)三輪登次、磯貝鶴治郎、下國喜兵衛、杉山典市、平尾靈吉、若林元四郎、金井久兵衛、山田覺、渡瀬寅太郎、菊竹嘉市、河合熊平、酒井一平、田口東一、前田定次郎、岡野嘉太郎、渡邊國雄、鎌立成一、永井竹次郎、平田俱樂、太田きん、湯淺和一、財津武、松原伊六、同光子、同伊之八、佐生作次、八木きよの、中川きそ、池田重次、藤原久諸吉、前田捨松、松下馬吉、山口要雄、籠原清、石井庄藏、三等(百七十六名)

十四日午後入港弘濟丸 一二等客　一等(二名)伊藤三二、田中尚吉、二等(三十三名)水野清次郎、伊佐清雄、同三郎、谷田勘治、安藤眞雄、同とも、同琢子、同照子、同盛雄、京子、安藤邦雄、下村助次郎、武内義三、茂木森來、阿武平、石田彦兵衛、長野徳三、村上貞一、馬代佐八、木村岩吉、近藤部太郎、同茅子、同壊主計、清水與治兵衛、同手郎、李谷宗三郎、矢野吉之進、井上竹治、外八一、三等(五十三名)

## 演藝案内

壽座　町　電話五七八　大阪若手俳優市川眼笑市川新昇一座　通し　假名手本忠臣藏　▲七日目興行 [illegible]

有樂館　本町　電話二六六　新築落成　[illegible]

昨夜も滿員大好評　大正館の忠臣藏　如何に寫眞の優秀なるか御一覽の上御批評願上候　義士一同決死的大車輪相勤め申候

浪花館　明治町　電話二六〇番　▲特別大興行　東京落語大一座桂小南一行來る [illegible]

佐久良座　龍山　▲本月十五日初日 [illegible] 花川圓王 [illegible]

壽館　町　電話一〇五〇　▲東京落語歌舞音曲々藝桂三木助一行 [illegible]

御成座　町　電話一二九一　[illegible]

大正館　町　電話八七三番　[illegible]

黄金館　黄金町四丁目　電話二六三七　[illegible]

龍光館　龍山停車場前　電話(龍山)四〇番　十月十三日よりの三大寫眞 [illegible]

## 齊家處世の要道　趣味修養の經典

第十二版
**生活と處世**
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵税二錢
人生最も重要なる問題は何ぞや。云ふ迄もなく、當に處して其の命運と目的とを完全に遂ぐるにあり。即ち人の子たり、父たり、夫たり、將た又市民たり、國民たり、世界の民たる職分を盡すにあり。然らば即ち本書は、此の人生の第一義を講明するもの也。

第五版
**處世小訓**
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵税二錢
人間の力は、宇宙の大、無極の永に比すれば實に憐むべきに過ぎず。されど一日の存在には一日の仕事あり、一人の生活には一人の職分あり。本書は敢て高遠行ひ難きの言を弄するものにあらず、唯吾人の世に處して爲さゞるべからざる所を力說したる處世實學の良師也。

第十三版
**家庭小訓**
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵税二錢
子女教育、家政家事等の事は固より、大は家庭の感化を國家に及ぼす事より、小は花見、納涼、物品贈答の如きに至るまで、家庭に於ける百般の事項一として網羅せざるはなし。即ち本書は必讀の家庭讀本にして、之を當今の女大學、今川狀と云ふも可也。

第九版
**文學漫筆**
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵税二錢
題して文學漫筆と稱するも、單に文學のみの漫筆にあらず。或は教育に關する事あり、或は政治に及ぶものあり。然れども其の歸著する所は、我が國民の性情を陶冶せんと欲するに外ならず。

第廿一版
**文學斷片**
□蘇峰學人著　定價金二十錢□　郵税四錢
文學とは如何なるものぞ、是れ實に大なる問題也。本書は博大なる著者の文學的感想評論を收めたるものにして、文學社會の風潮、作物の品騭、思潮評論、自然人事に對する感想等、苟も文學に關するものを網羅せり。斷片と稱すれども、毎編悉く是れ精金美玉たり。

第六版
**漫興雜記**
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵税二錢
書は詩人謡うて曰く『詩多漫興無佳句』と。然れども人の肺腑に徹するの天籟は、往々不用意の漫興中に於て見るべし。本書は實に著者の深奧なる思想と、人事自然の感觸とを現麗なる筆に託して記述せるもの、皆是れ精神的食糧の用に供すべきもの也。

大賣捌所　▲郵送料本社負擔▼　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話六六〇番

## 會員各位ニ告ク

來ル十六日午前八時ヨリ同十時迄ノ間ニ於テ龍山練兵場ニ於テ飛行機滑走及飛行ノ狀況ヲ親シク會員諸氏其他ノ御觀覽ニ供ス
追テ當日ハ飛行一時間前練兵場ニ於テ煙火三發ヲ打揚ケ可申ニ付萬一右打揚無之時ハ天候又ハ機械不良ノ爲飛行中止ノ義ト了知セラレタシ
十月十四日　京城協贊會

旅館　元山愛媛館　海岸通二丁目　電話二三番

婦人科 産科　入院分娩應需　京城旭町壹丁目　中央婦人病院　院主 衣笠　電話二三四〇番

最上醤油　京城本町三丁目　田中支店釀造　電話七六四番

醫化學諸器械一式　藥種賣藥卸商　仁川本町 北島藥店　電話三三四・振替京城六七番　京城本町永樂町角 北島藥店京城支店　電話七六一番

★株式會社百三十銀行京城支店　京城本町壹丁目　資本金五百萬圓　頭取 安田善三郎　銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候　電話五八番　振替貯金京城一九三番

賛化病院　京城本町二丁目　電話二四〇番　入院隨意　普通病室並隔離病室　院長 醫學博士 古城憲治　尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依賴に應ず(毎日五名を限り無料施療す)

大阪株式特電　十五日前場　大引　本郵船 一〇〇、九〇　一〇〇、三〇　[illegible]

公債直取引　京東　十五日前場　二五八、五〇 [illegible]

大阪株式特電　十五日前場 [illegible]

大阪三品特電　十五日前場 [illegible]

豫報 [illegible]

# 越後大評定

第十四席 早川貞水口演

## 愛妾お愛の方

愛『その様な言を御つしやると、手は見せぬ』源『イヤ理とは異ひます、短刀などを御抜き下されては……』愛『抜きは致しませぬ、貴下ごとき者を相手に、短刀などを用ひるに及びませぬので御坐る、左様な閒暇には、イザと云ふ秋、御主君の御役に立つやう、御心掛になるのが宜しい』源『イヤ、其事は其事、此事は此事な話で御坐る、お愛殿、左様な無禮を御つしやられて』と近接くを『無禮なさるなツ』バツト手が掛る『イエツ』ドウーン、向ふへ投げると二間も放り付けられ、一ころがり轉つて向ふの柱へゴツン、頭を打付ける 愛『トツトと御往でなさられ』云はれた其時は、手は見せ申さぬ』云はれた時に『御免下さい』ブーッと部屋を飛出し『オゥ痛い』と云ふ所をいきなり後から持つて來た御菓子を『源之丞殿、寂しい此の菓子、御返し申す』と云ふと後るから投付ける、逃げて來る頭へ衝突つて、菓子は砕けて頭から落ち口へ入る『オー甘い』甘いどころの騒ぎでない、這々の體『オゥ痛い、アヽ痛い、コリヤ悪い所へ瘤が出來た、恰度額の所へ出來てしまつた』と密に水飴に映し『オヤ〳〵是は大變な瘤だぞ』翌日御殿に罷り出で源君の御前に、源『麗はしき體を拜し、恐悅至極に存じ奉る』家『昨夜の首尾は如何ぢや』源『恐れながら十の物は九分九厘まで……』家『何う致した』源『漕ぎ付けまして御坐る、今宵参りますれば、大抵我心に從ふことゝ存じます』家『ハヽア左様か、首尾克く致せ、予が嬉的いたして取らするぞ』源『有り難い仕合せで御坐る』家『其方の頭の其瘤は如何いたした』源『ウヘーツ』家『如何いたした、大分大きな瘤のやうぢや』源『是は昨夜ア、不御へ参りまする時に、過つて部屋の柱へ衝突けまして御坐る』家『左様か、其方愛の部屋へまゐりしは五時頃比ぢやな』源『ウヘーツ』家『主君より急の御使者と申したな』源『ウヘーツ』家『鉋ではない筈と申したら』源『ウーヘーツ』家『それより何事か其方の身で愛の部屋にて兎や角う申し、其末、愛のために投げ付けられたが、其瘤は其節柱で打つた瘤であらう』源『ウヘーツ』家『其方の如き手際では愛は心に從はぬわ、瘤の癒るまで、目通り許さぬ、退れツ』源『ウヘーツ……コリヤ驚いた、後から跟いて來て聽いて居らつしたか知らぬ』家『ナニ』源『イヤ恐れ入り奉る』源之丞這々の體で引退がる、家康公この時感心あそばし『美男醜男を問はず濫りに人の心に靡かぬ大丈夫の愛の精神』と是で西郷左衛門佐清員を御召しになり、家『其方の娘愛、予に對する召使を命ずるに依り、愛に宜しく其事を申せ、其身も予の心事祭せよ』左『ハア有り難き仕合せ、不束なる娘愛、左程御主君が思召し下さることゝ、身に取りまして過分の至り、本人に一應申し聞け、確と御請け致すまでごさらう』家『取急げッ』左『ハッ』そこで愛を呼んで、阿父つさんの清員が 清『御主君の御側妾となつて御用を勤めよ、御主君の御心中御察し申し上げろ、其方よく〳〵忠孝兩道を以て、御主君の御世話を申し上げよ』與方は彼の[illegible]御愛『醜婦ゆゑに御無理もない事ぢやハイ長き御奉公なればなり歌まする』が御父上の仰せと申し、御主君へ御奉公、三ケ年の御奉公いたすで御坐います』清『ア、それで宜しい』此事を申し上げたる時に、源君殊の外御喜び遊ばしそこでお愛は表向き御殿へ御相談の上、御家康公御愛妾と云ふことになつた、賢明なる婦人なるが故に、築山様手が著けられない、それ以來家康公の御心がお愛に傾いて、築山御前が不義に及ばれたのかも知れぬ

小川家畜醫院 京城明治町三丁目

皮膚科 佐藤醫院
入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
京城明治町二丁目(元町二丁目) (電話一一七三番)
日曜祭日午後二時迄


十月十七日九星 曜 九月九日 辛巳 本命七赤 西危 大安

△七赤 [illegible] △八白 [illegible] △九紫 [illegible] △一白 [illegible] △二黒 [illegible] △三碧 [illegible] △四緑 [illegible] △五黄 [illegible] △六白 [illegible]


共進會最上のおみやげ 變味腐敗せず 滋養大 國産玄米糯 乃木餅 一箱十錢 一箱五十錢 京城本町壽館前乃木餅屋 電話二七五三へ御注文迅速御届し升

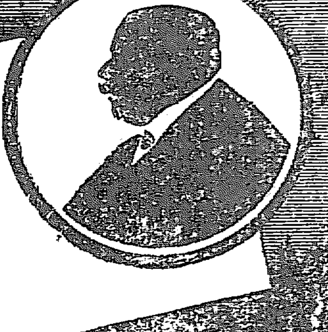
目ニ見ヘテ ズンズン キク ジゴマ式 イタマス 井上博士 ロート目藥
目を拭くため消毒した布と新案の點眼器を添てある 定價 大瓶廿錢 小瓶十錢 有名藥店にあり 本舖 東京 大阪 山田安民藥房

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

優良石鹸 都の花
マスト石鹸發賣元 東京 大阪 野村外吉商店

滿蒙處分論 クロパトキン將軍原著 日本大井包孝譯 定價金一圓 郵税本社負擔 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

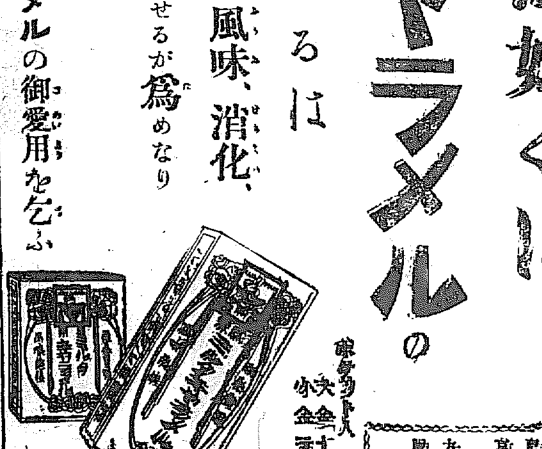
家屋敷及田畑山林の所有者は是非とも一本を購へ
朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著
朝鮮不動產登記申請書式並心得
●附錄 朝鮮不動產登記令、登記法、同施行規則
●殘本少し……賣切近し……速に御申込あれ
紙數三百六十頁 定價金八十五錢 郵税金六錢
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部



大醫諸氏の推賞さる 燐酸强壯劑 次亞燐は最も豊富に健康を提供す
秋の今日に身體の强健こ夏痩の回復に次亞燐を 服まぬ人なし!
◎各藥店にあり
小瓶五十錢 中瓶九十錢 大瓶一圓半錢
本舖 東京 小西久兵衛

人體の肥料 牛乳の數倍 滋養大關 次亞燐

猛虎一聲山川搖ぐが如くに 森永ミルクキヤラメルの 賣行旺盛なるは 現代製菓の四大要件たる風味、消化、滋養及清潔を完全に具備せるが爲めなり
商標ニ御注意の上
健康代用
此の商標ある 森永ミルクキヤラメルの御愛用を乞ふ



大 金十錢 小 金五錢
東京 森永製菓株式會社

朝鮮煙草株式會社
兩切煙草 パラダイス 十四本入 金貳錢
口付煙草 コスモス 二十本入 金貳錢

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院 電話八二三番

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械
急報叮嚀、迅速確實に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前 山岸天祐堂 藥品部 器械部 電話 [illegible]

男女淋病自宅熱力療法
本器は醫院部に於て山田弘倫博士マルクス博士の温熱療法に基き患者に就き苦心研究の結果完成せしものにて局所に適度の温熱を加へ淋菌を滅殺するの裝置なるを以て素人の自宅療法として最も完全なる療法なれば世の同病者は速に本器により加療せらるれば自宅で安全秘密に治癒の幸福を得べしハガキで申込次第專門大家證明の説明書無代進呈
申込所 東京神田今川橋カヂ町 電話本局三八九一番 博愛醫院器械部


## 仁川期米

▲十五日前場 大阪前場 [illegible]

く八錢と返し七錢と戻會 ▲十五日前場 小限八圓七十五錢 [illegible]

[illegible]

## 京城正米

[illegible]

## 各地商況

[illegible]

## 下關相場

[illegible]

## 十五日の十二月限

寄附 八圓四十八錢 前引 八圓四十七錢 止〆 八圓五十錢 [illegible]

賣買高 九月限 一萬九百石 十月限 一萬七千六百石 十一月限 [illegible] 出來値比較 [illegible]

京城日報

年中無休刊

（第二千九百三十三號）

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 山口政太郎　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

## 東歐小邦の去就

京城日報

過日來巴爾幹諸邦嚮背の報道紛々たる折柄、獨逸軍塞爾比亞に進入して、其首都ベルグラードを占領したるを報ず。獨墺軍の羅馬尼亞國境を壓するもの亦數十萬と稱す。羅馬尼亞にして之を抗拒するにあらざれば獨墺軍は同國を通過して土耳其を救援すべくして、巴爾幹は遂に修羅の街と化し去るべきなり。

昨年開戰以來、巴爾幹諸國は甚だ其去就に苦み、其中には首鼠兩端を持する態ありたれども今日のごとく獨墺軍其力を壟くして、東歐羅巴に殺到し戰局の勝敗を此に決せむとするに及びては、東歐諸小邦復た、長く洞ヶ峠の筒井順慶たるを得ざるなり、勃牙利は既に獨墺側に與みしたり、希臘の主戰派は其勢力を失ふて愈よ局外中立と決定するに至れり、獨り羅馬尼亞のみは今猶ほ聯合軍側に傾き居るといふも、其實力は獨墺二國を抗拒するに足らず、從て若し露西亞にして強大なる援護軍を致さざる限り、是れ亦獨墺軍の蹂躙する所とならざるべからず。

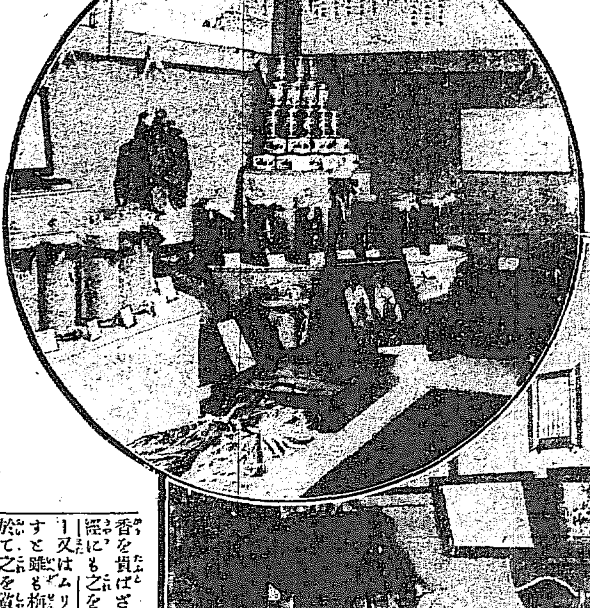
熟々歐洲戰局を大觀するに、佛白戰線に於ける敵味方共に其力略ぼ相當り、何れの一方も大に進みて爲す能はず、獨軍の露西亞に進入せるもの亦交通機關の不足輸送供給等の不便なる爲め、此上深く長驅する由なし、於是乎獨逸墺洪國共に其力を東歐に專らにし、土耳其海峽に於て聯合軍と輸贏を決せむと欲するの色あり、其の塞爾比亞を攻擊し及び勃牙利を牽引する等、皆是れ海峽戰爭の準備を以て之を見るべきなり、而して大體より云はば、從來英佛聯合軍は兎角に重を土耳其海峽に措かず、其陸海軍の力未だ十分ならざるのみならず、其攻擊亦斷續常なき爲めに、今年二月以來の事、未だ其功業の見るに足るものあらざるは、吾人の甚だ遺憾とするところにして、今や獨墺軍其力を東方に傾倒するに及びて猶ほ躊躇するがごとくは、恐くは其時機を失はむか、尤も、近報聯合軍は日々一萬四千の軍隊をサロニカに揚陸しつゝありと云ふを以て、之を見るときは英佛諸國亦其の力むるところを知らざるにあらずして、敵味方の實力東歐に集中するに及びて、此に初めて大勢の定まるを見るべきなり、即ち土耳其海峽は黒海と地中海とを通ずる咽喉の地帶なり、聯合軍にして一たび之を攻取するときは、露國と英佛諸國との間に、最も重要なる一大通路を開き、其兵器軍需品及び食糧品を輸送するの便勝て言ふべからざるものあり。此戰爭にして來年に持ち越すものとせば此一大通路を開くことは今日の焦眉の急務なり。且此海峽にして陷らば土耳其は降服すべく、東歐小邦は皆悉く聯合軍に投合すべく、此度の大戰役は之に依りて一大段落を結ぶべきなり。獨墺二國が露國戰線及び佛白戰線の兵を割いて之を東方に致すも此の狀あるは此形勢を見て機先を制せむとするものならざるべからずして、我味方たる聯合軍亦此に努力する所なかるべからず。

## 朝鮮開發の五年

### 六 産業發達の實績（二）

#### 産業政策（下）

新政施行の初めに總督が各道長官に與へたる訓示中産業に關する部分の要項を記すれば、先づ古來火田の濫行山林の盜伐行はれて燃料の缺乏を告ぐるを救濟し併せて水害を豫防する爲め山林保護の必要あるを鮮人に感せしむるには殖林の經營苗木の養成を必要とし之れが調査に著手し灌漑の施設については、堤堰の利用方法を講じ、朝鮮米の聲價を高むる爲め米穀調製の改良を計り、當時輸入米の内地より輸入する額五十萬圓以上に達するを遺憾として朝鮮内に之れが製出を獎勵し、朝鮮の貿易が常に輸入超過の趨勢に在り爲めに朝鮮人が自己の勞力に依り獲得する利益より更に多額の資金を流出する結果を見、將來經濟上の維持頗る困難なるが故に鮮人の日用品は之を外國に仰ぐことを避け朝鮮内に生ずるに努むることを計り、又朝鮮が果樹栽培に適せるに拘らず果物の輸入實に五十萬圓を超過するの狀態にあれば廣く之が栽培を勸め以て輸入を防ぐべしとなし、蠶業は能く朝鮮の風土に適し貧富上下に通じ最も簡易適切なる副業にして殊に兩班儒生に取り好個の生業なるが故に大に之を獎勵し、蠶種蠶具の無代配付等の方法を講じて之れが改良を計り北鮮には柞蠶飼育に好適の地尠なからず又南鮮に於ては棉花栽培に適せるが故に之を獎勵普及せしめ將來相當の財源たらしむるを期し、牛の産地は北鮮及び平安道を主とし古來朝鮮牛は其の種佳良なり而して學理上同種改良は簡易にして且成績頗る良好なれば朝鮮牛に依り朝鮮牛を改良するの方針を執らしめたり。朝鮮に於ける農事經營の方法に至りては兎角學理に偏するを避け經費を節減し簡易にして而かも實地に適する方法を擇ぶ方針を以て將來の計畫を立てたり。



（上）江原道の海産物　（下）平安北道の陸産物　＝共進會審勢部＝

右は施政當初の方針にして必ずしも全般に亘る方針を見る能はざるも幼稚なる産業を開發するに於て先づ當面の急務とすべき事項について施設の要領を訓示せるものと見るべく爾來一方に於て調査を行ひ、調査の進むに從ふて施設の方針を立て星霜五年今日の如き産業の發達を致せり

## 閑餘隨錄

大谷光瑞

### 三、香（承前）

支那に在ては四川雲南より之を出し頗る貴し其の價尚ほ銀に比し數倍せり此獸の香を有するや如何なる目的に供するや不明なれども牡獸のみ有し牝獸の有せざるあり之を看るに或は生殖に際し香氣を放ち牝獸を誘致するの用に供するに非ざるか幼獸は殆ど無く、やゝ有るも香氣甚だ不快なり此の獸の食ふ所の植物につき歐人は研究をなせり此の獸ヒマラヤの一萬四五千尺に住するを以てこの地帶に於けるデルフイニユームグラシアル、デルワイニユームブルノニアナムの兩種を食せるならんと云ひこの兩植物は麝香と等しき芳香を有するを以て之れにより麝の香料を生ずる原料となせり兩植物は淡紫色の花を有し東ヒマラヤの特産なり支那人は麝獸柏葉を食ふとも云へり王摩詰の詩に「柏葉初齊養麝香」と云ひ其の他麝の柏葉を食ふは支那に於ける定說なるが如し然れども支那に於ける柏なるものの甚混亂し一樣ならずキユプレサスを指すを普通とすれどもジユニフエラスツヤ亦柏と名づく即ち針葉樹の松樹に非ざるを一般に柏と名くるが如しヒマラヤに於ける柏の分布はキユプレサスは一般に低く麝獸の遊歩區域外にあり麝は七千尺以下に降る事稀にしてキユプレサスは八千尺以上に上る事稀なり然ればジユニフエラスならざるべからず此の植物は一般に五千五百尺を最低とし最高一萬五千尺に達し充分麝の生息地域に在りと雖も其の分布西ヒマラヤに多く東ヒマラヤに稀なり唯ジユニフエラスレカルヴアのみ東ヒマラヤに及ぶジユニフエラス香氣無きに非ずと雖も麝香と全く別なり蓋し必ずしも植物の有する香と分泌物と同一なりと云ふべからず却て其の食物より芳香を論斷する如きは一の揣摩に過ぎざるべし印度は麝香を貴ばざるに非ず金光明最勝王經にも之を擧げ梵名もカスツーリカ又はムリガナーブヒと名け之を貴すと雖も栴檀の比に非ず寧ろ支那に於て之を貴ずるに如かず支那香料は麝香を以て第一となせり是の香とやゝ等しきをシヴエット及びマスクラット等とす別にアムバーグリスと名くるものあり久しく其の實體を知るものなし海中より出で海濱に漂着するを取て香料となせり其香麝香に類せり故に支那人は龍涎香と名けり近時之を極め Physetemacrocephalus と名くる鯨の膽結石なりと斷定せり即ち病的産物にして偶然此の香料を生ずるものなり麝香に比し更に一段の芳香ありと云ふ我未だ之を嗅がず故に確言する能はず然れども其價格に至ては麝香に比しやゝ上位にあるが如し今日に於ても南洋に漂着するを待ち始めて之を得るのみ（此項未完）

## 大共進會 出品概觀（芸）

### 審勢館（江原道）

平安北道と相對せるは江原道の陳列なり中央には精巧なる模型を据へて金剛山の絶景を紹介し、壹側には其の奇觀絶勝の寫眞十數種を配置せる模型には一々立札を以て萬物相、九龍潭、海金剛、鐵道ホテル等の名稱と位置とを明にし又た探勝の道路寺院建物の形態に至る迄明瞭に展示しあり

中央正面には管内地圖を掲げて重要なる部邑、交通及び重要物産分布の狀況等を記入し左右には農産、畜産、水産、養蠶、林産、經濟、教育、土木等の統計圖表を綴らして道勢の一班を窺知せしめ、西側には地方改良の治績を語れる各優良面、面長、面書記等の事績を大和綴として陳列し、又賦役工事道路改修の寫眞を配して併せて合併當時十七里に過ぎざりし改修道路が三百七十三里に達せる事實を示し管内地圖の前面には質朴農園を前庭とせる洪川公立普通學校の模型を置きて果樹園、苗代、野菜畑等の狀況を明らかにし朝鮮兒童に對する農業教育の效果を語ると共に一般行政の狀況を展示せり

生産の部に在りては農業に於て其の改良發達を助長する爲各郡に傳習所講話會等を開催し、是等修了者には種苗の無償配付、改良農具の給付又は貸與を爲し、重要農産物たる米、麥、煙草等に付ては共々優良種の普及を圖り施肥播種、耕耘、乾燥、調製等の改良に努めたる結果、併合當時米産額は十四萬石なりしもの大正三年に於ては四十五萬石に躍進し、麥は十三萬石より三十八萬石に、煙草は十六萬貫より六十一萬貫に增加し水産に於ては二十二萬六千圓を占むる鰮を始めとして明太、鯖、鮑、海鼠、鯣、石花菜等の成績品を出陳し以て主要獎勵事項の種類並に其の獎勵の效果を示し、之に相隣して一箇年四千五百貫を採掘する金剛山産の重石、伊川郡の石器、磁器二十四萬五千斤の産額ある蜜蠟成績品等を排列して工業の一班を語れり、其の他林業にありては七十種の材鑑を以て始政當時の植樹數十三萬本に過ぎざりしもの今や百七十萬本に達し又た繭は二千二百石より五千三百石に牛は七萬五千頭より十四萬頭に上れる事を說明せり本道特産の一たる白柿は其の改良の成績特に顯著にして從來百個三十錢に過ぎざりしもの今や七十四五錢を呼ぶに至れり以上の成績を綜合すれば本道農家の總生産額は一千三百萬圓にして農家一戸當の生産力は七十四圓餘を算しつゝあり

十月十七日の共進會

「婦人小供デー」

京城協贊會主催

日曜日なれども觀覽券は一枚にて入場が出來、婦人子供衆には御土産品を呈し專用の無料休憩所を設け茶菓の接待を爲し演藝館は三時間より天勝一座の「ダンス」喜劇奇術を婦人二十錢小供十五錢均一にて御覧に入れ其他あらゆる優待を爲す

公示催告

申立人 宗像イツ

一、貨物引替證書壹通 但大正三年十月二十四日附朝鮮總督府鐵道局大田驛發行（以下判讀困難）ヲ紛失シタルニ付キ公示催告ノ申立アリタリ依テ本證書ノ所持人ハ大正五年四月二十九日迄ニ當法院ニ其權利ヲ屆出テ且其證書ヲ提出スヘシ若シ其屆出ヲ爲サザルトキハ右證書ノ無效ヲ宣言スヘシ民事訴訟法第七百七十七條ニ依リ催告ス

大正四年拾月拾貳日

京城地方法院

朝鮮總督府判事 針貝金次郎

新刊書御案内

時論及思索 樗牛全集刪定第四巻　一、三〇
アッシジの聖フランチェスコ 中山昌樹譯　一、八〇
セヴァストオポリ 昇曙夢譯　八〇
ブラジル移植民の眞相 伊東　九五
靜 歳 水野錬太郎　一、二〇
頭山滿と玄洋社物語續編 平井晩村　九〇
地 獄 江馬修　一、七五
生命中心の哲學 三並良　一、八〇
認 識 論 紀平正美　一、二〇
銀 笛 小杉天外　一、三〇
醒めたる女 坪内逍遙　一、〇〇
將棊はめて千態 土井市太郎　一、三五
筆 草 大町桂月　三五
正して用字法 大町桂月　八〇
改訂商業通信 石川文吾　三、三〇
諸貸金取立法と貸倒れ復活策　一、三〇
參考化學通解 山深甕作　一、二〇
朝鮮風俗集 今村鞆　一、八〇
朝鮮より 宮原綱村　五五
學校體操の原理及教育法 向井虎吉　一、五〇
教育法眞髓 河野清丸　二、四〇

京城本町通 電話一〇八二番 振替京城二五七二
大阪屋號書店

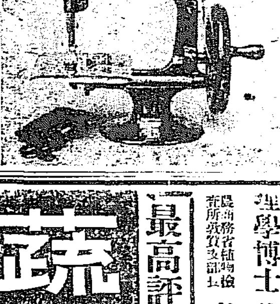
輕便なる裁縫器械 姬ミシン

●各博覽會共進會に於て賞牌受領
●本器は小形輕便ミシンにて其取扱至極簡便にして夫人令嬢の居室には日常欠くべからざる適品たり
❷此際國産發展の主旨により壹萬個を限り左記特價にて販賣す（高さ七寸幅七寸）

特價金參圓五拾錢也

荷造送料 內地 二十五錢 朝鮮 四十五錢 樺太 五十五錢

發賣元 東京市麴町區內幸町一ノ三 合資會社 浪速商會 電話新橋 振替貯金口座 二四三一三



婦人世界秋季增刊

健康長壽號

□長生きの新法 村井弦齋
□百廿五歲の根據 伯爵 大隈重信
□不老長生の術 下田歌子
□何職業の人が長生するか 辻博士
□長生した人の日常生活 齋藤玄敬
當選發表 長壽夫婦 我社に於て正確に調査したる 金盃銀盃受賞者十三組 △夫婦の年齡合計二百十歲至百九十五歲 △寫眞入り長壽理由說明す
□「偕老同穴」は海中の動物（此動物の寫眞入）飯塚理學博士
□此うすれば長生きるか 醫學博士 高木兼寛
□百五十三歲迄生きた人 外山醫學博士
□小說 銀笛 小杉天外 □小說 御前 武田仰天子
□重病全快實驗 △肺炎△つわり△肋膜炎△胃腸炎△リユマチス△猩紅熱△氣管支炎△赤痢等

十月五日發行 一册拾五錢 郵税壹錢五厘

東京京橋 實業之日本社 振替三二六

東京齒科醫學專門學校（學則郵呈）校外生募集 東京神田三崎町

最新刊 果樹の害蟲 理學博士 佐々木忠次郎序 斯學專攻の新進たる著者
菊判特製全一册 ●正價一圓二十錢 ●郵税十錢

此兩書は著者多年の研鑽を傾注して各害蟲の形態・發生・經過・習性等より最も適確なる豫防驅除の方法を揭げて平易實際的に詳述せり。農家・園藝家は勿論、初て害蟲研究者も又唯一の參考書也

最高評 蔬菜の害蟲 農商務省植物檢查所技師 高橋奬著
菊判特製全一册 ●正價金八十錢 ●郵税八錢

愛知縣農學校長 農學士 山崎延吉君著【最新刊】
忽三版 地方改良の話
中判美本全一册 ●正價金五十錢 ●郵送料八錢
町村の繁榮法と一家經營法とを趣味多き比喩例證を交へ小說よりも面白く說けり町村界唯一の寶典也

發行所 東京市日本橋十軒店 振替口座東京七百番 裳華房 ● 發賣 京城本町二丁目 振替京城二五七三番 大阪屋號

# 列强大戰

## ▲敵影を見ず ドウヰンスク方面

露都來電に曰く、ストリパ河前線にて少くも三箇師團の敵軍は潰走したり▲アラス北方の形勢は頗る良好なり▲ドウヰンスクノコーキョキ間電信其他の諸設備は悉く復舊したり▲獨軍は事實上各地點に於てドウヰンスクより數哩を隔たりたる各地に驅逐せられ最早ドウヰンスクより十哩以内には敵影を認めずチメン湖の南方に於ては露軍は再びドウヰンスク及びウヰルナ間の鐵道に接近しつゝあり（倫敦電報）

## ▲露軍捷報

露軍はイルクスクの西方に於ける重要なる高地を奪ひ湖水地方に於ても著々陣地を占領しつゝありスター河及びラファ高地の北方に於ける戰鬪に於て露軍は勝利を博し捕虜二百名を得たりトレンボウリアの西方に於て露軍の騎兵は敵を追擊し塹壕三線を越え其手兵を斬殺せり（露都電報）

## ▲飛船襲擊 又も倫敦を

獨逸ツェペリン飛行船は十三日夜倫敦を襲擊し四十一名の死者及び百一名の負傷者を出だせり（倫敦電報）

## ▲伊出兵乎 巴爾幹方面へ

巴里來報に曰く首相兼外相ヴィヴィアニ氏の言明する所に據ば伊太利は多分巴爾幹に出兵するに至る可しと（紐育電報）

## ▲獨軍討伐問答

佛國議會に於てコンスタンチノープルへの進軍期豫想に際し聯合軍は克く獨軍を討負かし得るやとの質問に對し首相ヴヰヴヰアニ氏は答へて曰く聯合軍の作戰計畫實現せられ其の結果滿足なるべきやう案出せられたりと（東京特電）

## ◎救助金御下賜 朝鮮罹災民へ

朝鮮に於て七月下旬八月下旬の豪雨並に九月下旬暴風雨の爲め十五日罹災民救助の思召を以て七千六百圓御下賜相成りたり（東京特電）

## ◎地方賜饌服裝 通常服代用し得る者

即位大禮及び大嘗祭の後大饗第一日の後の當日地方に於て饗饌を賜ふ際の服裝は曩に公示せられたる通りなるが地方の實狀は此の際直に燕尾服を調製する能はざる爲め此の光榮に浴し得ざる者少からざるを以て此狀勢に應じ廣く賜饌の本旨を徹底せしめん爲め官吏（待遇官吏を除く）有爵者以外の者は特に通常服（フロックコート、シルクハット又は山高帽）を以て代用差支無き事とし此主旨に依り處理せしめられ度き旨大禮使次官より外務内務の兩次官に通牒するところありたり（東京特電）

## ◎廟議略定 支那帝政問題

十四日の閣議に於ては對支外交につき最も愼重審議せられたるも其の内容は帝國の外交に關する重大問題なるを以て暫らく公表することを能はざるを遺憾とす而して支那帝政問題に對し大體の方針決定し列强に對し其れ〲通牒する準備中なるも尚ほ各國の意嚮をも聽取したる上更に次の閣議に於て根本的決定をなす筈なり（東京特電）

## ◎日露同盟締結

倫敦タイムス露都通信員の所報に依れば露國外務省は日本政府は速に日露同盟の締結を希望し居れる旨通知に接したりと尚露國外務省の一高官は特別の使命を帶び遠からず日本に赴くべしとの風說あり（東京特電）

## ◎植民地豫算 廻付

朝鮮、樺太、臺灣、各植民地明年度豫算案は此の程全部出揃ひとなりたるを以て十五日午後一時より內務省に於て豫算審査會を開きたるが十六日も引續ぎ開會決定の上大藏省に廻附すべしと（東京特電）

## ◎待命將官豫備

待命中の左記將官に對し十五日豫備仰付られたり（東京特電）

陸軍中將 牧野清人
陸軍少將 武內武
同 平岡茂
同 宮崎吉輝
同 生田目新
同 內田廣德
同 矢島孝太郎
同 河北榮太郎
同 木村半太郎
同 中島城之

## ◎昇任と豫備役 豫備役被仰付（各通）

十五日左記四大佐に對し少將に昇任と同時に豫備役仰付られたり（東京特電）

陸軍步兵大佐 足達□治
陸軍工兵大佐 渡邊兼二
陸軍砲兵大佐 柳貫一
陸軍步兵大佐 湯池藤吉郎
任陸軍少將豫備役被仰付（各通）

## ◎佐尉官昇級

十五日陸軍佐尉官十餘名に對し昇級發表ありたり其の重なるもの左の如し（東京特電）

任大佐（各通）
陸軍砲兵中佐 谷口重紀
同 松尾精英
陸軍步兵中佐 山岡寅之助
陸軍輜重兵中佐 松枝定

## ◎民政長官辭表提出

內田臺灣民政長官は十四日安東總督を私邸に訪問し正式に辭表を提出したり（東京特電）

## ◎露國砲彈注文

川崎造船所にては露國注文の砲彈數萬發製造を引受けたり右に就き砲彈製造用の旋盤五十臺を東京磯貝鐵工所に注文し兵庫分工場にて熔鑛爐を築造すべしと（大阪特電）

## ◎軍需品注文 配手

英國政府より日本に注文ありたる大砲三吋砲四百門の製造は內三百門を吳海軍工廠にて引受け一百門は室蘭製鋼所にて猶ほ砲座、砲架、砲彈等は神戶製鋼所に引受くる事となりたり（大阪特電）

## ◎河野農相東上

河野農相十四日八幡製鐵所視察をなし同夜春帆樓一泊十五日朝九時五十分東上す（門司特電）

## ◎堀田伯元山著

伯爵堀田正恒氏は十六日午後四時四十五分來元村地府尹の案內にて市中及び港內を巡視したる後大東館に投宿したり（元山特電）

雜報

## ◎朝鮮農村改良の急務 先づ地主を教育せよ

東京帝國大學農科大學教授法學博士 矢野樂藏氏談

朝鮮の現下に必要を感ずる農村改良教育に就いて意見を有つてゐる予は昨年全羅南北道の農村を視察する處あつたが現在では最上良田で二石位の收穫であらう然るに日本に於ては福岡、熊本、三重、愛知の如き箇所の最良田で四石、中田で三石の收穫がある朝鮮で收穫の少いのは

▲一に肥料を施さないからである然らば施肥すれば可いではないかと云ふ事になるが茲に又難問なのは地主と小作人との關係である若しも富裕な自作農許りならば意の儘に施肥するが地主と小作人との交涉問題となるとそう容易には行けない事になる即ち朝鮮などには地主と小作人との間に地主の代理で小作米を收納する者がゐるが或は收賄をしたり或は小作人と結托して收穫を誤間化したりするので非常な弊害を醸す一體日本などでも小作農の數が多過ぎる自作農と小作農との比較は日本では田畑で六分四分の割だが朝鮮ではもつと小作農の方が多い

▲露西亞など例の農奴解放問題が起つた程に小作農が激增した時代があつたが獨逸や丁抹などでは今日自作農八分、小作農二分と云ふ最も理想的な割になつてゐる自作農許りになつても無論弊害がある然し朝鮮の現在の樣に小作農許りと云つた有樣も考へものだ即ち農夫が非常な大農夫と非常な小農夫との二階級ほかない譯だから今後は其中間に入るべき中農、そして夫れは大抵自作農であるが夫れを增加し存在せしめねばならない然し現在之を急に作ると云ふ事も出來ないさすれば急務は現在の農業狀態を改良するのにあるが夫れは一に大地主の教育に歸する

▲前にも言つた樣に大地主は總て代人をして小作米收納の事に當らして更に所有地の事情を知らない是れ抑も農村改良の遲々たる主因である朝鮮の大地主は大抵其所有地とは遠く隔たつた京城にゐるそして一度も其所有地を見舞つた事の無い樣な人許りである無論農事の事なぞ更に承知してゐない隨つて施肥がどの位收穫に好影響を與へるものかどの位其所有地にどの位施肥が必要だか其樣な事を薩張り心得ない小作人は肥料を施せば收穫が增す事は明らかだが自分で肥料を買ふ丈けの資力はなし借り度いと思つても貸す方では何の信用も資力も無い者には貸す事も出來ずさらばと云つて

▲地主に交涉しようと思つても間に挾まつた者がゐて肥料なぞ要るものかとてんで頭から撥ねつけてしまふと云ふ仕末である夫れも若しも地主が直接に其農場の樣子を知つてゐるとすれば施肥が果してどの位の利益があるか直に算盤を執つて見ると云ふ事になる水原の東山農場などでは地主側から無料で施肥してやる是れは小作人をして施肥の必要を認めしめ世智を養はしめる丈けでもいゝと云ふ主旨なのだが夫れでなくても或は地主と小作人と半々に持つて收穫を半々にする（伊太利などでは現にそれをやつてる）とか地主が三分の二を持ち小作人が三分の一を持つとか云ふ事にしてもいゝ若し小作人に金が無ければ

▲地主が裏書して やつて金融組合からでも貸出させる事にする現に牛などを買ふ時には金融組合から貸出してゐるらしい是れは牛と云ふ抵當物があるからやれもするが收穫を目當にはやれないのだ是等の問題を解決するには一に地主をして農事に通せしめるにある自分の農狀の模樣を知らしむるにある然るに今の殆んど總ての地主には其頭腦がない教育の必要がある所以である予が教育には簡易農學校だとか農林學校だとか相當の設備はあるが地主は農夫學校に行かせる譯にも行かない夫れには當局で此人達の農事思想を進めてやり模範的な經營でもやつてる連中は相當の方法で表彰でもしてやるがいゝと思ふどうも朝鮮の農事に限らず總て改良は急速には出來るものではない徐々として進むべきである

## ◎商業會議所聯合懇話會 內地朝鮮滿洲實業家の盛集

全國商業會議所並に滿洲實業團體聯合懇話會は十五日午後工業傳習所講堂に於て開かれ各地商業會議所を代表し出席せるは內地側四十五名朝鮮側十六名、又滿洲實業團體を代表し出席者五名なり午後二時閣下休憩室に一同參集の上京城日本人商業會議所會頭原田金之祐氏は主催地側を代表して挨拶を述べ且つ開會前に大會の會長を選任せむ事を諮りしが東京商業會議所副會頭杉原榮三郞氏より『大會の例として會長は主催地の會頭を以て之に任する事としたし』との意見出で滿場一致之を承認して原田氏を會長に推す事に決し次に副會長の選擧も名古屋會議所會頭鈴木總兵衞氏の提議にて主催地の副會頭たる關繁太郞氏を推薦す少時休憩の後三時階上講堂に於て原田會長は開會を宣し挨拶を述ぶ

今回朝鮮物產共進會の開催を機として此の聯合懇話會を開く事を發起したるに直ちに各方面の贊同を得て遠隔の地より忙中態々枉駕せられ茲に大會を開くを得たるを深謝す殊に本日は總督の來臨を辱うし本會の光榮之に過ぎず會員を代表して閣下に深謝の意を致すと共進會は一幅朝鮮の縮圖にして廣く內外の人に展示せられ朝鮮の實情を知るは今日を絕好の機會となす所以を說き內地滿洲より來會せし諸氏に對し充分に調査研究せむ事を希望し右畢りて寺內總督は懇切なる祝詞を述ぶ（別項記載）總督の祝詞終るや杉原榮三郞氏は會員を代表して大要左の如き謝辭を述ぶ

本日此の大會を開かれ殊に只今は總督閣下より產業に關する點につき祝詞を頂戴したるは吾人の無上の光榮とする所たり閣下朝鮮に新政の局に當られて以來五年今や山川草木光輝に滿ち產業の進步異常なるものあり閣下が產業の獎勵指導至らざるなき洵に感謝の次第也思ふに今日は內外の事情に鑑み實に千載一遇の時期正に吾人が發奮すべきの時にして今回大會の開催せられ親しく朝鮮の實情を知り相互に懇親を結ぶを得たるを欣ぶ余等內地に歸るの時鮮地の紹介に努むべきは勿論克く相互の聯絡を圖り一層益々朝鮮經濟界の爲めに貢獻せんことを期す茲に深謝の意を表す

右終りて大村京城會議所書記長は東

## ▲寺內總督祝詞

本日內鮮各地の商業會議所及び滿洲に於ける各實業團體の代表者諸君相集まりて聯合懇話會を開催せらるゝの好機會に際し一言祝辭を述べんと欲す

既往五年間に於て朝鮮の生產力は稍增進せりと雖も工業の發達商路の擴張は未だ見る可きもの無く富源の開發し貿易を隆昌ならしむる點に於て遺憾なきを能はず抑も國家の富力は其土に生產する原始材料を加工して盛に精巧品を製出し汎く販路を內外に求めて輸出を饒からしむるに依りて增進す由來朝鮮は原始材料の輸出に止まり加工品は概ね之を海外に仰ぎて自から製出するの有利なるを悟らず以て輸入超過の趨勢を馴致せり此貿易の逆潮を一轉して富力を增進せんと欲せば大に工業を振興し商路を擴張せざるべからず之を鼓舞獎勵するは固より政府當然の務なりと雖も之が機關たる商業會議所は自から進で商工界の各種事項を調査研究し以て斯界の指南車たらざるべからず

朝鮮に於ける商業會議所は從來內地施行の法令に遵據し一定せし法規なく組織區々にして運用充分ならざりしに依り本年新に朝鮮商業會議所令を制定して其範圍權限を明かにし商工業に關する各般の調査施設紛議の仲裁等を指定したり過渡匆々の際未た其の効果を見ること能はざるも漸次此新法に基きて組織を改め步武を齊整にし內は工業振興の氣運を促進して供給を饒かにし外は商品の販路を弘擴して需要を喚起し內地及滿洲の各團體と氣脈を通じて其の本能を發揮せられんことを望む

信用は商業道德の眞髓にして正直は社會信用の源泉なり一時の射倖は商業前途の萎靡を來たし粗製濫造は工業百年の大計を誤ること其例乏しからず各位は克く此間の消息を知悉して商業道德を皷吹し販路調査を精確にし以て其の天職を盡さざる可らず爰に聯合懇話會に來臨せられたる內地及び滿洲各團體の代表者諸君も亦此意を諒とし內外相應じて朝鮮商工業の發達を援助せられんことを切望す

終りに臨み各位遠來の勞を謝し併せて商工界前途の倍多幸ならんことを祝福す

## ◎事務打合會議

農工銀行支配人會議は去る十日より三日間の豫定なりしも時恰も朝鮮金融業者大會に際會せる爲め豫定會期に於て全部の議事を終了する能はざりしを以て十四日午前より引續き總督府に於て事務打合せ會議を開きたるが十六日を以て全部の終了を告ぐるに至るべき豫定なり

## ◎後藤男爵出發

滿洲より歸途入京したる後藤男は十五日夜七時五十分南大門驛發にて東歸の途に就きたり同夜は官民の見送多數あり尚ほ男の爲めに滿鐵の上田恭輔氏は接待として釜山まで同行見送りなしたり

## ◎荒井長官東上

度支部長官荒井賢太郞氏は既記の如く十五日午前八時三十分南大門驛發の列車にて東上せり

## ◎生金巾輸移入高 仁川九月

月中生金巾輸移入は十八萬四千二百二十四圓にて前月の五萬一千二百二十三圓に比し著しく增加せるは追々需要季節に向ひつゝあるに因り又た前年同月の十四萬二千四百七十三圓に比するも尚巨額の增加を見たるは昨年本相場は下向なりしも本年は之に反し時日と共に上向き手持筋は漸く愁眉を開きたる模樣にて何れも先高見越に爭て輸入せしに依る市場實行は良好なり價格は二十反入一俵三A印百三十二圓三B印百三十九圓龍印百三十二圓にして前月に比して十六圓高商の騰貴なり月末出庫高は百梱內外なりき

## ◎仁川九月綿糸

九月中仁川綿糸輸移入高は五萬一千九圓にして前月の一萬七千七十二圓に比し著しき增加を來せるは一方冬物金巾類の昂騰甚だ敷且品薄なる爲め到底其の需要を充す能はず寧ろ綿糸を輸入し織布する方割安なるに付き斯くは異數の現象を呈したるものなり之を前年同月の二萬八千三百五圓に比して著しき增加を見るに至りたるは全く此の間の消息を闡明せるものと云ふ可き乎實需は良好にして價格は攝津平印十六手五十七圓五十錢鐘紡鱗王十六手五十五圓卅錢鱗共十六手五十七圓五十錢なりき

## ◎松方巖氏出發歸東

十五銀行頭取松方巖氏は滯京中なりし十五日午前八時半南大門發列車にて歸東せり

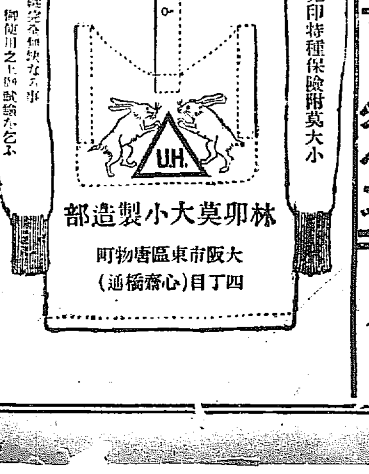
人事消息

▲牧瀨五一郞氏（陸軍教授兼文部參事官）十五日仁川より入京京城ホテルに投宿
▲田中遷氏（黃海道第一部長）十五日入京浦尾へ
▲群馬縣織物組合觀覽團九名 十五日入京浦尾へ

商況

大阪株式寄附 ……
下關期米 ……
九月限 一二五八〇 一二五九〇
十一月限 一二七一〇 一二七一〇
十二月限 一二八〇〇 一二八三〇
（以下不鮮明）

三ツ丸印 MITSUMARU 登錄商標
自働調節口付スタンプインキ
ゴム印木印兼用
改良印肉（朱、黑、紫）
金屬木石布類用 マークインキ
東京三田 三丸商會
電話芝四一三一番 振替東京一一四〇番



兎印特種保險附莫大小
新裝完全無缺なる事 御使用之上御試驗下さい
林卯莫大小製造部
大阪市東區唐物町四丁目（心齋橋通）

◎會員各位ニ告ク
來ル十六日午前八時ヨリ同十時迄ノ間ニ於テ龍山練兵場ニ於テ飛行機滑走及飛行ノ狀況ヲ親シク會員諸氏其他ノ御觀覽ニ供ス
追テ當日ハ飛行一時間前練兵場ニ於テ煙火三發ヲ打揚ケ可申ニ付萬一右打揚無之時ハ天候又ハ機械不良ノ爲飛行中止ノ義ト了知セラレタシ
十月十四日 京城協贊會

御即位式記念洋服

セビロ三揃 オーバーコート、インバネス
金十四圓均一 金十六圓均一 金十八圓均一 金二十圓均一 金二十二圓均一
フロックコート三揃 金二十八圓均一 金三十三圓均一
ドレスコート三揃 金三十八圓均一 金四十五圓均一
右何れも柄の新しい氣の利いた商品で本年の品全部荷着歐洲戰亂の爲め原料拂底の所幸ひ弊店は去る一月以來非常の格安にて買入れ候間御即位記念の爲め例年より一層破格を以て提供可申候
市內御一報次第參上 地方郵券十錢添へ御申越次第見本送呈
東京市麴町區山元町貳丁目角
關根商會高等洋服店
電話番町一〇四一、一四六五六、振替口座一五〇九

實用養鷄成功法
どうすれば養鷄で金儲けが出來るかと云ふ事を多年の經驗上から丁寧親切に說いたものは本書の外にない 第一版 一部送料共五十錢
實用家禽醫者
此本が一冊あればどんな素人にでも家禽一切の病氣を誰にでも治療することが出來る 第三版 一部送料共四十錢
誰にも必要な養鷄便覽 無代呈進（郵券二錢送れ）
東京神田仲猿樂町 曉聲社 振替東京一四〇九七番

生殖器の短小
發育不全、包莖、陰萎、遺精、早漏、勃起衰弱、交接不能、腦神經衰弱等の患者は速に自宅で秘密に眞空療法を施し強大に逞ましくなる空前の奇効を知らしむるハガキで照會次第博士證明の（眞空療法解說圖入）を無代寄送す
▲最新の學理は獨逸ボーン大學教授アウグスト博士の發表
▲巧妙なる治療器は日本政府の新案特許品にして最も完全なる治療器也
▲素人自宅秘密用効力一回毎に目に見へて博士大家の賞讃湧くが如し
▲大阪北炭屋町所の類似品あり警戒せよ
東京神田かぢ町五 電話本局三八九二
東京 眞空療法研究所

小兒科專門 內科
若槻醫院
京城旭町三丁目（元十全病院跡） 電話二四六二
ドクトル メヂチーネ 若槻寛隆

大阪三品
大阪株式
神戸電鐵 …… 五〇、九〇
京阪電鐵 ……
和歌山電 ……
合同紡績 ……
一五五一〇
▲十五日後場

大共進會

# 空中より敬意を表す

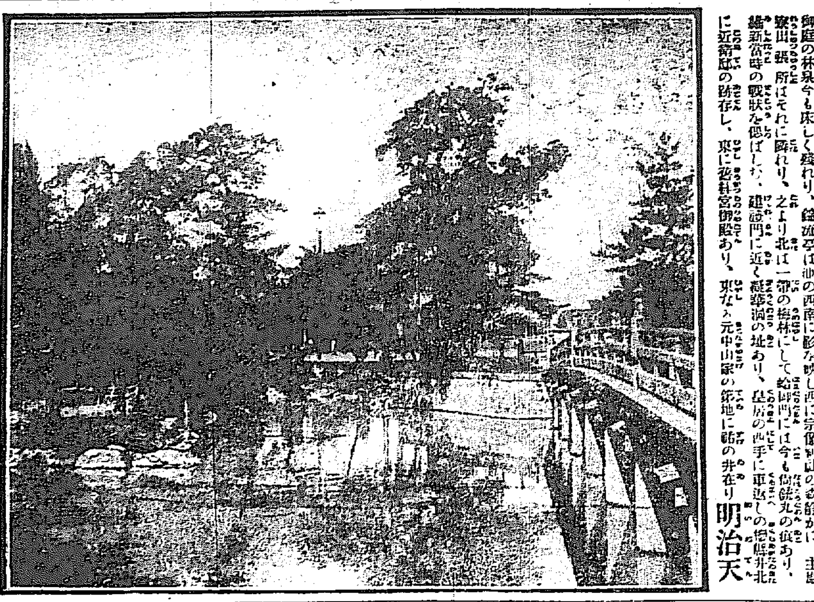
十六日早朝龍山練兵場の飛行

十六日龍山飛行場にては協賛會員その他を招し飛行機の操縦、滑走、離陸著陸低空飛行等を觀覽に供し飛行後尾崎行輝氏の説明あるとは既報の如くなるが當日は京城訪問に際し共進會場の上空にて『京城協賛會は帝國飛行協會が今次訪問飛行の擧に於ける多大の努力と成功に對し滿腔の敬意を表すると共に滿都の觀覽者より熱誠の歡呼を以つて迎へられたるを光榮とし茲に感謝の意を表す』と記せる紙片數千枚を散布する筈にて同紙片中には共進會無料入場の特權を有するもの五百餘枚を混じありと尙當日飛行は午前八時半擧行さるゝ事となり居れるが同日午前七頃より京城各學校生徒に飛行作業を觀覽せしむる由

# 池塘の紅葉秋に映えたり

御大禮の式典に淨められたる京都御苑

京都御苑とは禁裏御所なる舊御門内の地を總稱したるものにして東は寺町北は今出川西は烏丸南は丸太町を境に今は石壁を築き芝草を伏せ花木を交へ植ゑ清泉を導き遊園を通じて一般人民の通路となす、南には堺町御門東に石藥師御門清和院門寺町御門北には今出川御門西には下立賣御門蛤御門中立賣御門あり、皇居仙洞大宮御所此中に在り、往昔は皇族攝家清華公卿の邸宅もこの中に構へられしも維新後大抵撤廢され今は悉く御苑となれり而して堺町御門を入れば大路北に向つて開け砂美しく縱横斜めに芝生の間を徑路坦々として通じ雜木老木の松設り北方遙かに建禮門を望み瑞氣を帶びたる紫宸殿の甍まばゆく聳えたり、堺町御門の西手に舊九條家の御邸跡あり御庭の林泉今も床しく殘れり、拾翠亭は池の西南に影を映し西に宗像神社の森靜かに、東山邸所はそれに隣れり、之より北は一帶の梅林にして蛤御門には今も砲銃丸の痕あり、維新當時の戰狀を偲ばしむ、建禮門に近く凝華洞の址あり、皇居の西手に車返しの櫻御所北に近衞邸の跡存し、東に從一品宮御殿あり、東なる元中山家の邸地に明治天皇御産湯の井戸にして正面に碑石を建てたり、苔色若松白河石の井筒を置き「祐井」の二字を刻したり、御東に桂波家の跡あり、今も紫藤の棚殘りて初夏を彩る花美し、更に華雅の第址かづく打續き、皇居の東南に大宮御所、仙洞御所あり、門は何れも西に向ひ古のまゝなる御建物明きて仙洞御所の御庭は古土佐の繪にも似て卧美にして閑雅なる御趣に絶せり、然してこの御苑内は先年來大典準備のため改修增築の箇所少なからず舊來の面目全く一變せり堺門より建禮門に至る大道路は十五間幅を二十間幅に擴張せられ仙洞御所御苑より西へ一直線に開かれたる道路は十六間幅大宮御所仙洞御所所手の道は二十間幅賀陽宮跡には八間幅の南北線道路開かれ庭樹の間を逍遙し春の花秋の紅葉を賞翫の料に資すべく幸闊たる散步道幾筋となく設けられ白雲神社初め小祠は檜柏等を附近に密植し御苑内道路よりの眺望をさけしめ舊九條邸跡の林泉は一層の總趣を添ふる爲種々の加工施され同池の凝翠橋を南へ渡りて丸太町通に出づる通路は築垣に依りて塞がれ烏丸通に沿へる舊一條邸跡北側の通路今出川なる同志社前通路も塞がれたり、かくて建禮門外より既に竣成したる賢所を望み奉れば鎭木鰹木の御屋根高く聳え悲厳の氣自ら湧くを覺え、其邊り八瀨の女の昔ながらの風俗して掃除せる姿など繪の如く浮かぶを見るべく、苑内の大路には雄盤の杜多數植立したれば、やがて映えたる不夜城の壯觀を呈するなるべし



大阪期米特電（十五日）
▲後場 當限寄付十一圓八十八錢△中限寄付十二圓〆八錢△先限寄付十二圓二十五錢

仁川大豆引所
止め ……三二、〇〇 二二
▲十五日後場 大阪 止 二十 錢後寄 十九錢の

# 山野横斷競走

選手應募締切　十七日午前中

二十日協賛會を發著點として擧行さるゝ山野横斷大競走は目下五十名の選手募集中なるが意外に應募者多く種々調査準備の都合あり、締切を一日繰り延べ十七日正午までとし十八日午後一時より要會樓にて選手希望者の體格檢査を爲す由右先著者には協賛會の賞品の外に各商店の副賞品寄贈のあるは既報の如くなるが大阪毎日新聞社は同競走第一著者に純金メタルを第二三著者に純銀メタルを寄贈することに決定したりと尙手協賛會にては同事務所前に投票箱を設け一般に第一著より第五著までの豫想時間投票を爲さしめ適中者には殘らず賞品を贈るの計畫なりと

# 婦人子供デーと演藝館

十七日の共進會婦人子供デーには既報の如く一人殘らずお土産品を進呈した上、角力館を御婦人お子供さんの爲めに開放休憩所に當て、場内各興行物は全部大割引、ブランコは無料寫眞館まで二割の割引をする上に、演藝館は婦人子供諸君の爲めに男子をお斷りして午後三時半から五時半まで、天勝一行の大小奇術、喜劇、ダンスを御覽に入れる、そのプログラムは一、小奇術二、曲藝三、小奇術四、少女ダンス五、ヴァイオリン獨奏六、奇術七、小奇術八、喜劇いたづらボーイ

# 天勝は『胡蝶の舞』と喜劇

連日滿員札止の盛況を呈せる共進會協賛會演藝館出演天勝一行のサメロ劇は十五日にて切り上げ十六日よりは電氣應用『胡蝶の舞』の思ひ切り美しい所と喜劇『鼠捕り』を出し其他の大小奇術小女ダンス等と共に御覽に供する由

我社の献納せる

# 京城神社の煙花放揚

十八日晝は家庭博入場券散布
夜間は京城未曾有の煙花大會

京城神社の御大祭は今十六日の夜前夜祭御擧行に相成り十七日は神輿龍山の御旅所に渡御あり十八日午後四時御還御あらせらるゝ事に決定し居れり今秋の御大祭こそ氏子組織となりし以來始めての御大祭にして殊に目下共進會開會中の事なれば御盛大に擧行せらるべきに就き我社は此御大祭を一層御盛大ならしむべく神輿御還行の當日即ち十八日午後四時より翌夜に亙り三十三發の最優良煙花を献納し奉ることゝせり、煙花は目下共進會の爲め入京し黄金町三丁目に出張所を設け居る三河煙火商會稻垣傳三郎と同じく東小門外に出張所を設けたる大塚煙火製造所の兩煙花大家が互に腕に撚を掛け一本に敗圓乃至十數圓の原料を投じて造り揚げたるものにて實に京城にては未だ曾て一回だも放揚せし事なき逸品なり十八日は神輿が午後四時御還行に相成ると同時に大塚にて謹製せる號砲煙花三發を打ち揚ぐるや大塚製八發の晝煙花は南山公園にて打ち揚げらる此の煙花が秋空を破つて高く揚れば颯然たる音響と共に我社の社旗を吐き數百枚の家庭博入場券を撒布する仕掛なれば御祭典參拜者は同煙花打ち揚げの際は特に注意して拾はるべく又夜となれば午後七時より同公園にて大塚特製の引先の綵、花畑、眞菊、綵眞紅牡丹、寄心金牡丹、曲花道水星蓮、雜花園等の最良煙花と三河煙花商會の特製煙花としては水色鹿子、淺黄鹿子、金波流（二發）菊先の露等五發煙花の外に電光雷、金波菊、引先の櫻化眞菊先の露等の十發の連發ある筈なれば御大祭最終の十八

▲保合氣乘薄
買 石賀七百石買 …… 二百石賣 七百石
大阪の變動なきさ下げ歩にて保合 …… 今朝の如き …… に

▲期米目先觀
▲作作發表 …… 九月限 …… 實に低れ …… 百六十八 …… 不合格なりたり …… 保合を操り返し居りたる仁川市場に

十五日の十二月限
…… 錢七錢六錢七錢六錢 …… 四十六錢七 …… 六錢

□幼稚園の運動會

京城幼稚園の秋季運動會は十五日午前十時から市外奬忠壇で催ふされました、此の日暖かい日のさす芝生には紅いリボンのお嬢さんや海軍服袴などつけた可愛らしい坊ちゃんなどが皆な揃ひの白いエプロンをつけて互にお行儀よく遊戯をいたしました、先づ君が代の唱歌の次ぎにはマーチ、お馬どう〳〵飛行機などが始まり午後は又『ひらいた〳〵椿の花ひらいた』だの綱引、雄マーチなどが面白く皆んな澤山の御褒美をいたゞいた上午後三時芽出度く樂しく會を了りました又見物には阿母様やお祖母様や姉さんなどが多く何れも芝生の上に毛布を敷いて始終ニコ〳〵して見物して被居いました

日午後四時より夜に掛けては秋空高く燗々たる火の花咲き亂れ實に空前の盛況を呈することならん

●田代少尉判決

櫻井少佐殺しの嫌疑を被けし田代少尉は放免更に文書僞造行使として懲役一年の判決を受けたり（大阪支局特電）

家庭博覧會

# 景品は日を追うて殖ゆる

何遍入場しても損をせぬと云ふ人所では思はぬ珍談も出る、既に三日となつたから或は景品が廢りになつては居らぬかと心配せられる向きがあるかも知れぬが景品發表以來當選番を紙上に發表してある通り十五日閉會後の調べに出ると景品全額即ち一等より四等まで籤は未だ三分の一も出ず三分の二以上は殘り籤になつて居り而も其上お米だの醬油だの木炭だのお酒だのステッキだの、着物だの料理券だのと種々な奇抜な高價な景品が日に日に殖ゑる一方で今

『貴女、何が當つて？』『妾厭になつて終つたわ、男の持つステッキが當つたんですもの』『併し妾のお酒よりは餘程よいわ、昨日ね―きぬ子さんは三等で二圓の籤をお引きになつたんださうですね―十錢の入場料で博覽會を觀た上這麼に景品を貰つて行つては濟まない樣な氣がしますね―』と十五日の夜雜閙を極めた景品引換所の横手で三人連の御婦人が話して居られた、今日此頃福引的景品の始まつた以來料理屋の女將に仲居、兩券番の藝妓連が家庭博に來て運試めしの籤を引くものが日毎に殖ゑて引換

共進會の婦人子供デーは十七日

飛行機 機體 觀覽

▲本月十七日迄毎日飛行時間合に龍山練兵場格納庫内にて觀覽に供し係員より説明す
▲觀覽料一人五錢小兒及制服軍人學生參錢三十人以上は半減

京城協賛會

種々な景品を計算して見たら結局損はして居なかつたと云ふ觀客もあつた迄よりも寧ろ之れからの方が寄贈景品が多くなり從つて當りも好くなると云ふ譯、中には景品當て込みに三日間に二十餘枚の入場券を買うたが

●愛會樓休憩謝絶

十六、十七日の兩日は褒賞授與式及びその準備その他にて差閊あり、協贊會場内慶會樓は右兩日優待券持參者の休憩を謝絶することに決せり

●十七日の觀覽者

十七日の一般觀覽者は十時半迄は迎秋門より入場せらる可し

●南大門小學運動會

南大門小學校にては十六日午前十時同校庭に於て秋季大運動會を開催すと

●高知縣人秋季大會

高知實業視察團の入京を期として同縣人秋季大會を十六日午後六時より清華亭にて開催會費一圓五十錢成るべく多數の出席を希望すと尙ほ通知漏の人は直に同亭に申込べしと

□今日の演藝館□

△晝　間
▲御代の榮　小三、若奴、千代作、菊龍、春蝶、花奴、喜蝶、ひな子、梅子、百千代、光枝、千代香、國香、若蝶、百合子、小菊
▲五條橋　〇〇、光榮
▲地方　芳子、若吉、幸奴、潤、君香、かなめ、梅香、千代香、勝丸、秀丸、吉太郎、つぼみ、はまぐり、芳枝
▲佳人剪牡丹　安錦花、金彩霞、畏月仙、金寶妍
▲壽宴長　金春紅、錦山月、李桂香、康春紅、黄蘭香、朴牡丹、崔佳香
▲劍舞　田錦紅、卧鳳雨、吳碧珠、金松鶴
△夜　間
▲天勝一座　奇術、寛術、奇劇鼠取、流行ダンス胡蝶の舞


本椿香油の大名譽

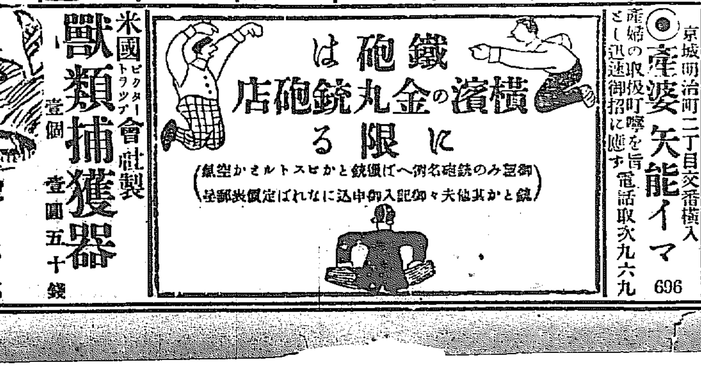
金牌の榮譽を荷へり

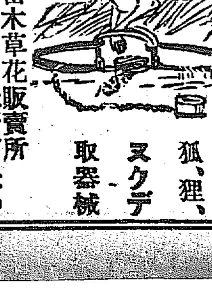
實業博覽會に於て數多き髮油の内獨り我本椿香油のみ如何に本椿香油は他の髮油より勝れるかを知られよ
故に襲きに宮妃殿下及宮内省御内儀御用の光榮を拜し華族貴顯方は勿論上流社會に於て盛に愛用せられつゝあり
●注意　頭上桶なきは僞物なり
定價　廿錢、卅錢、六十錢、一圓

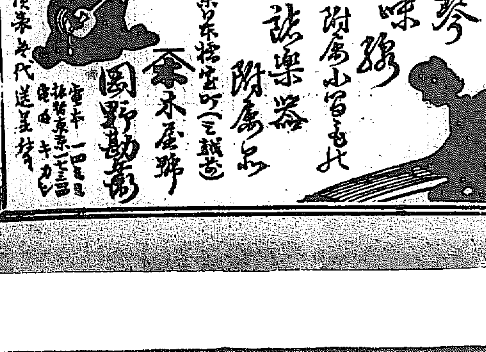
京日案内

◎普通　一行（一行五十錢）
◎店員入用　但し身元引受人を要す　南大門市場　池尻商店　757
◎食料品問屋　京城明治町三ノ二九番　山崎　ちゞれ毛のなほること奇妙はやくおためしあれ　まさ　726
◎奥様令嬢に急告
▲古本▲雜誌▲新聞▲反古▲書籍　買入電話二五〇番　京城本町ウツボヤ書籍店　747
▲看護婦入用　免狀所有者を募集す　希望の方は履歴書を送れ　仁川寺町　仁川看護會　743
◎神士招聘　齡廿五歳以上の内地人希望者履歴書携帶來談　京城本町二ノ一〇六　大正生命保險會社　742
◎番外　一回金六十錢（無割引）　行每に一回金五錢
京城南大門外蓬萊町鐵道踏切側　産婦人科　内科小兒科　今本醫院　電話二八五二番　752
新龍山漢江通原病院向側　山野改メ　産婆　澤入ツマ　電話六一九番　753
大井町　正館前　◎平壤燒栗　支那やき　燒味京城唯一　山下製麵所　電話二三四八番　754
マッサージ　京城本町二丁目電話一四四〇番　産婆　三浦小糸　756
▲乳母至急入用　右望みの者は京城本町二丁目十六番地　辰市本丸方へ申越しあれ　758
積保證金　簿記計算に熟練し普通學才あり實業商店に雇聘されたし身元保證金及確實なる保證人あり年齡不惑（姓名仁川支局）748
◎京染萬染物所　御預品は至極叮嚀に取扱迅速に御届仕候　京城岡崎町七〇　憲兵出張所向側　清水堂　713
恩給年金類立替　京城本町三丁目四十番地　電二二六一番　博多屋本店　711
◎移轉御披露　新築家へ移轉從來の通り營業罷在候　京城黄金町三丁目水標橋入る角　星谷商店　740
朝鮮特産　人參ミルク　衛生滋養豐富　見舞品内地土産品には好適本品は主所の特約店にあり一磅入廿五錢　櫻井町　製造發賣元　博榮堂　734
三浦宙堂　京城明治町二丁目　宇治屋茶舖横小路入　717
◎書畫骨董桐箱製造　京城日の出町五番　東京　藤井出張　電話二〇五　694
◎鍼灸　一般　子宮及び胃腸は特に請合　京城旭町一丁目　白石組横小路入　吉川市　751
◎日本製六〇六號　『アルサミノール』注射開始　京城明治町一丁目（元賭町）　△皮黴科　佐藤醫院　744
皮膚病　花柳病專門　永樂町商品陳列所坂の上　須古醫院　電話二一〇二番　566

旅館　一泊八十錢一圓一圓廿錢　御中食三十錢四十錢各別升　720
◎共進會　入口五六軒右脇　伊藤旅館　共進會觀覽各位に多大の御便計り
◎旅館開業御披露　京城南大門脇漢陽公園通り　眺望佳絶閑靜にて　漢陽旅館　電話二二二九　營業主大原松次郎　626
◎かせぐすりに百種あり　第一カゼピリン　627
◎はねつぎ　うちみくじき等　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　685
恩給年金類立替　京城御成町　電話二七七七番　山口屋　710
◎産婆矢能イマ　産婦の取扱叮嚀を旨とし迅速御招に應す　京城明治町二丁目交番横入　電話取次九六九　696



## 千生瓢(13)

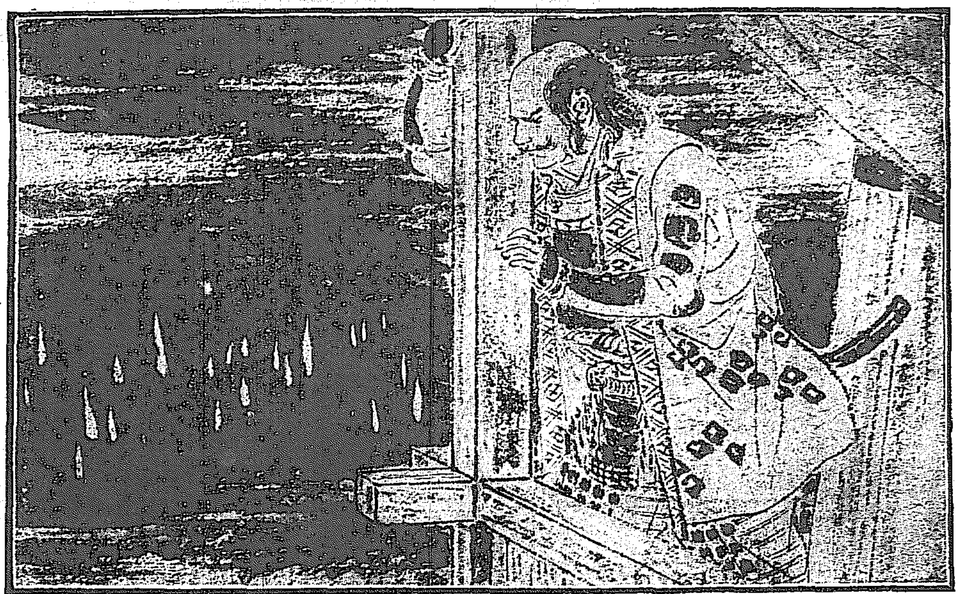
須藤南翠作 筒井年峰畫

### 颶風の前(十三)

前哨の亂暴を追つ散らして、一當あて〻先陣を蹂躪らうとした、瀧川左近將監一益の戰術は、敵に堅固な用意のあつた〻め、却つて散々に討ち破られて、無殘の不覺を取つたのであつた。幸ひに遊軍の瀧川儀太夫詮益の殿戰に由つて、兵を纏めて引き揚げる事は得たものゝ、頼みに思ふ味方の驍將を數多亡つて、其鬱憤骨髓に徹し、如何にしても忘れる事は能きなかつた。

第一戰に勝軍して、敵は勝利に心弛み、今夜はうち緩いで休むは必定此の虚に乘じて夜襲をかくれば、敵不意を襲はれて、陣々の駈引合期せず、周章狼狽き潰走するは必然である。桶狭間の勝利もこれである。本能寺の敗衂もこれである。寡を以て衆を破るには、此外に戰術はないとは、一益が必勝の策であつた。

瀧川儀太夫詮益は、四百餘人を以て先鋒を承はり、敵陣間近く進み寄つて、一時に火を放つて燒き拂ひ。青地頼母、倉地郷右衛門は、七百餘人を二手に分け、左右より儀太夫を引き挾み、揉みに揉んで攻めかゝれ。其間に我本陣を進めて討ちかゝらうぞ。谷崎忠左衛門、室山備中守は今日勇戰の勞れあらう、本陣を守つて、機の熟するが待つようにと、其々に指揮して、夜襲の部署全く整ひ、鳴を靜めて、其時刻を待つてゐる。林の如く靜かなるうちにも、殺氣㥗然と立ち騰つて、星の光りも取り分けて、晃々と輝いた。



折から遠雷の轟くが如き響き、海の方より殷々と傳はつて、人々聳いて耳を欹つる時、山の手に無數の炬火點々と列なつて、刻一刻と數の加はるのが見えた。是にも亦目を駭かして、彼れは如何と觀てゐると、海手の砲聲は漸く近づいて、幾千とも知らぬ戰艦、舳艫に篝火を焚き列ね、桑名の沖より、長島城の方にかけて、海を斷つて押し寄せる。此砲聲の物凄いのに、いつの間に上陸したのか、濱手にも數十箇所に大銃火を挾き、鯨波を合せ、大砲を射ちかけて、今にも桑名、長島を、微塵にしようとするものと想はれた。

此遠寄に肝を奪はれたのは、桑名城に留守する將士であつた、斯うして海陸から攻め寄せ來り、味方の聯絡を斷ち切る時は、防戰の難儀は言ふまでもない、籠城とても幾日を支へようと、孰れも落ち風に誘はれて來た。留守の大將日置五郎左衛門は物に動ぜぬ剛將である。瀧川彦次郎は、萬夫不當の雄將である、兩將聲を限りに城兵を勵して

『物々しい彼の炬火を、敵の寄すると見ればこそ、戰はぬ前に氣敗もすれ。彼れこそ楠が遠篝火の兵法、筑前守が僞りの計略なるわ。誑かされて、敵に笑はれな』と一心に諭し廻つた。

日置五郎左衛門、辛うじて城兵を說き鎭め、櫓に上つて敵の狀況を檢分するに、濱手の大將は、羽柴於次丸秀勝、桑山修理亮を隨へて、其人數一千餘、大砲小銃を放ちかけ、えい〳〵聲して攻め寄する。八方の注進に耳を傾けるに、山手の大將は明石與四郎、大谷慶松、木村小隼人等三百餘人を引率して、寄せ炬火の奇計に過ぎねど、海手には加藤孫六嘉明、中村彌平次一氏の一千餘人、高山右近太夫長房の一千五百餘人、船を列べて押し寄する、其勢ひに必勝を期して居る。兩城の安危、只此一擧にありといふやうな、甚だ心細いものばかりであつた。

其間に秀勝の軍勢は、早近々と押寄せて、二三の丸を一揉に落さうと競ひかゝる、城兵は既に色を喪つて誰防矢を射る者もなく、間隙もあらば落ちようとして、可惜敵の的になる者ばかりである。此分にては、一夜の籠城も覺束ないと思つたので、日置は乾度思案して、合圖の狼煙を頻々とうち揚げた。

狼煙の火光の中天を焦す時、寄手は俄かに攻口を弛めた。城壁にひたりと身を寄せて、今にも攀ち登り、乘り越えんかと思はれた一隊も、潮の退くやうに其處を退いた。看る看る沖より漕ぎ寄する船に乘つて、都に海上に漕ぎ去つた。磯には唯だ捨て篝火ばかり、雲を燒いて燃え熾つた。

種苗 目錄進呈 大阪市外天王寺村 藤田文太郎

大割引 自動車 新羅一千年間の舊都(朝鮮慶州)の奈良へ遊べ京釜線大邱驛より快走夕ツタ二時間と半!更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

## ●ヒマラヤのローマンス(二)

印度ダルハメシーにて 松尾善英

### ■樂しい避暑地

今迄私等多くの人民は下界の暑さを憎んで今は此の親しい友たるヒマラヤ山に避暑して居るのです、此の地には世界一と云はれたる美しい珍らしい、ヒマラヤ杉の森が鬱蒼暗く廿哩も續いて居るのです又た美しい石楠樹の森もいと廣く、其の森の枝々に珍らしい愛らしい極樂鳥も鳴き遊び又樹木をつゝくキツ、キの啄く音は森の中にひゞき渡るのです、石楠樹の樹名は確かロードデードロンでしたらう、これも旅行中大谷伯から承つたので、大谷伯から旅行中處々で珍らしい熱帶植物に色々伯御得意の羅甸語で、種々承つたが、素より記憶力の無い私の小な頭の中には其の承つた十分の一も存りません石楠樹はトンゴル(ダージリンより二十哩の地)を以て世界一としてあるのですが、此の地も亦トンゴルに決して劣りません。

獨り高々音たてゝ走るあの谷川の水も皆あの北天のヒマラヤから發するのでせう、勇ましいカアキ色の英國の兵隊さんやら、小供等やら愉快げに此の地を飛びまはつてゐます、咲き殘つた石楠樹の花やら、又今盛りに咲くダリヤの花も人々と共に樂しく遊んでゐます。

### □林月の戀物語

やがて太陽西の山路に落ちる時、向ふの小路では、おつかさんが可愛い子供を三人連れて歸つて來ます、又た樂しさうにテレニスして歸る若い夫婦やら、ヤンチヤの小供等は皆樂しい唱歌を歌つて我家へと急いでゐます、やがて夜に入つて、太陽に代る滿月が東の山から靜かに出づる時今迄太陽に輝きし、あのヒマラヤは再び滿月に映されて秀麗の姿となり、而して月のヒマラヤこそ眞に人心を心細くもさせます、向ふの方で樂しい音樂の音が響く時、森の中で月をあびて語るあの乙女等も亦何か戀物語して居るのでせう、又向ふの方でも年若い花の樣な娘さんが若い男と手に手を取つて廿き蜜の樣な……

○少女の友増刊『お國自慢』 少女の友の秋の増刊は其名もお國自慢と云ひ全國の讀者より募集せしお國自慢三十八篇、親の由來十八面、其他長田幹彦氏の月の夜がたり、宇野浩二氏の和蘭へ行つたお里の手紙、瀧澤青花氏の旅の印象等を掲載せるが新に星野水裏氏の『路傍しながら』は少女を持つ父兄の必ず一讀すべき文字にして阪井昇氏の全國女學校集合寫眞は此社ならでは爲し得ざる大規模のものなりとて

○日本一の長壽夫婦 夏人が百八歲七個月、妻君が百一歲九個月、夫婦合せて二百十歲四個月といふ日本一の長壽夫婦が鹿兒島にあるは本月五日發行の婦人世界増刊の『健康長壽號』で其生活ぶりが詳細發表されて同社から名譽の金盃を贈らることゝなつた、なほ同誌には全國より選拔した長壽者夫婦の健康法生活法をはじめ醫學博士の長壽健康法を掲載してゐる『重き病に罹つて全快した實例』は各種の重病全快の實驗談でそれぞれ人々の好參考である

○水野博士の『靜感』を讀む 今回東京神田尚文堂書店より發行の新著『靜感』は水野博士が心血を灑いで故西郷侯及び故兒玉伯兩先輩の靈に獻じたるものにして全篇總て三十有餘章森嚴なる內外時局の高學批評なり先づ筆を世界の大局に起して內政に外交に財政に軍事に特に又教育宗教思潮に及べり高邁の見、剴切の評、言々肺肝を出でゝ一々時弊の肯綮にあたり卷を措くに忍びず嘗に著者の時代に忠なるを見る雪嶺博士の『世の中』蘇峰氏の『時務一家言』其の他と共に近時稀に見る一好文字にして政治家として將た又批評家として著者の地位の甚だ高きものあるを示せり敢て讀者子に一讀を薦む 購入天金總クロース四六版の裝幀極めて美しきものにして定價一圓二十錢也

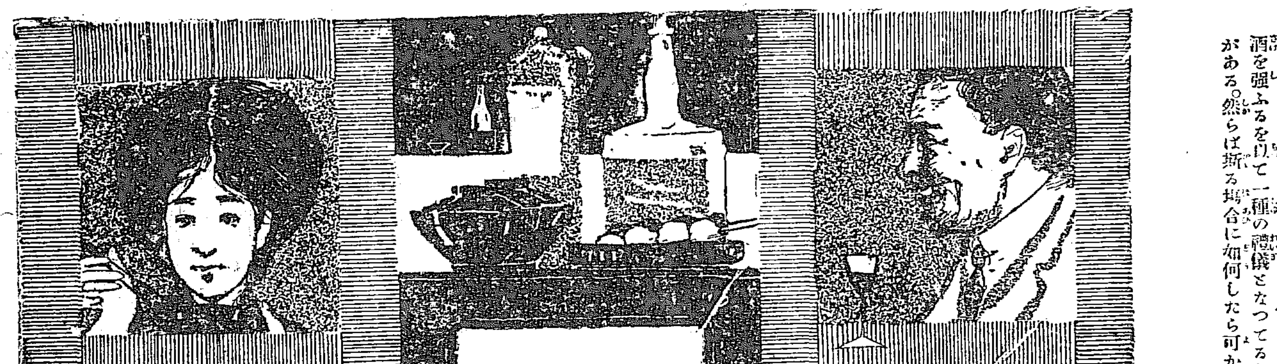

# 酒の呑過と餅や菓子の食過の適藥

# ○ミツワ制酸錠

製劑責任者 藥學士 石尾貞朗

定價 百五十錠入 二十錢

酒を飲むは衛生上善いか惡いかといふ議論は上戸と下戸とに依て各我田引水の傾がある。然れど公平に謂ふと、適度に用ふれば、胃液の分泌を促し食慾を進め、筋肉や精神の疲勞を回復する等、所謂酒は憂の玉箒ともなるが、併し一朝適度の量を過したとせんか、悉く右の反對になり、左に述べてある樣な狀態になる。所が我國は冠婚葬祭必ず酒を用ひ、其上人に酒を强ふるを以て一種の禮儀となつてゐるから、適度の量を守るは、時に依て行はれ難い事情がある。然らば斯る場合に如何したら可からうか、曰くミツワ制酸錠を用ふるに限るのである



○ミツワ制酸錠適應諸症

一、過飲(症候) 不知一定の量を過すと、多少眩暈を訴へ、惡心くなり、嘔吐を催し、尚重きは大に頭痛を來し、家が廻る樣に見え、胃部がムカ〳〵し、揚句に嘔き、七顛八倒苦しんだ揚句、甚しきは昏睡狀態に陷ることがある。

一、惡醉(症候) 一定の量を越えて左程に飲み過さゞるも、時に依り、身體の加減で惡醉することがある。普通ならば精神が面白くなつて歌の一つも唄ふ氣になるのだけれど、惡醉すると、過飲と同じ樣な結果になり、頭痛がしたり、惡心くなつたり、嘔吐を催したり、眩暈がしたりして、えも言へぬ苦痛がある。

一、宿醉(症候) 過飲或は惡醉し、直に相當の手當を施せば宜いのだけれど、其儘に放棄つて寢ると、明日になつても尚心身共に倦怠く、其上鈍い頭痛を訴へ、噯氣が出たり、香酸曹囃がむつたりして食慾進まず、唯煩渇を覺えて、臥床に懶然と身を横たへ業務を執る勇氣が出ぬものである。

以上の如き場合には何れもミツワ制酸錠を用ふるに限るが、尚又本藥は左の如き場合にも卓効がある。

一、胃酸過多症(症候) 甘い物例へば菓子、餅、餡類、汁粉等腐れかゝつたのを澤山食べたり、又飲食したりしたのが原因となつて胃を傷め、爲に酸い噯氣が出で、溜飲を來し、食慾進まず、胃部苦しく腹の張る等の諸徵候がある。

一、胃痛(癪)(症候) 原因は色々あるが、兎に角俄に胃部に劇い疼痛を發し、其の疼痛が胸から背にまでも響き、非常に苦しむのである。右の外ミツワ制酸錠は急性胃加答兒(食傷)や吐瀉症にも應急の良家庭藥である。

ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥 ミツワ椿油 肝油ドロップス 御園化粧品

發賣元 ○

東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑 滋養品 石鹸 香粧品 小間物問屋

登錄商號 丸見屋商店

電信略號○ミヤ 振替貯金口座 東京七一〇番 營業部電話 特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇



陰萎病並に神經衰弱に大効あり

滋腎 田春丸

一週間分金七十五錢 三週間分金二圓也 東京銀座 岸田吟香 電話新橋二番 振替口座四七七番

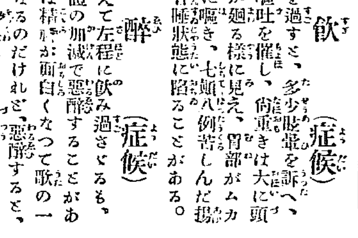
美女●●

春夜見あかぬ珍器 表情無限內容は云ぬが花!三錢切手十三枚送れ直送す

大阪市北區東堀川町九 大正堂

オイシ

七歲より下のコドモかぜ=ねつ 特效藥



山猪內 口垣田 医医藥 學學學 士士士 方証監 劑明修

醫效 かぜ、ねつ 麻疹、腫熱 流行性感冒 マラリヤ熱 百日咳、其他熱一切

本舖 大阪京町 丹平商會

價十錢、二十錢、三十錢 各藥店にあり



## 朝鮮郵船 出帆

京城南大門驛前 松原運送店(電話二三五)

全羅丸 十一月一日 釜山發
京畿丸 十月廿五日
黃海丸 十月廿九日
成鏡丸 十月十九日 }
(門司より釜山各港寄港雄基間)

穩城丸 十月二十日 元山發
鏡城丸 十月十六日
(元山より各港經由雄基行)

能登丸 十月廿四日 元山發
忠清丸 十一月一日 元山發
(城津、清津、浦潮行復航釜山經由門司)

永興丸 毎月廿八回 元山發
(北久味、方里浦行 又は長崎延長)

高島丸 十月十六日 釜山發
(甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行)

江陵丸 毎日 (釜山浦項)發
咸陽丸
(長生浦、方魚津寄港)

三浦丸 十月廿一日 釜山發
(長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行)

濟州丸 毎日 釜山發
統營丸 巨濟丸 慶尚丸
(各港經由麗水行(三日目一回木浦行))

順天丸 三日目毎 木浦發
(各港經由麗水行麗水より釜山行に接續)

慶興丸 十月十七日 木浦發
公州丸 十月廿三日 木浦發
(一、各港經由濟州島行(月八回) 二、南多島海列島行(月三回))

忠信丸 十月二十日 仁川發
(海州龍塘浦各港經由、鎭南浦行)

江原丸 十月十六日 仁川發
(芝罘、大連、青島行)

龍水丸 十月十九日 仁川發
晉州丸 十月廿三日 仁川發
(各港經由木浦行)

全南丸 毎日午前 仁川發
咸陽丸
(江華島、海州島、海州行)

平安丸 十月十六日 群山發
十一月十三日 若松發
(往航大黑山、木浦、門司、若松行 復航門司、二木浦、群山行)

## 日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行
高砂丸 十月廿一日 正午出帆
三河丸 十一月八日 正午出帆
相模丸 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

## 尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶大阪行
秀吉丸 十月二十日後四時出帆
君が代丸 十月十六日後四時出帆
神代丸 十月十八日後四時出帆
大有丸 月日後五時出帆
第二太湖丸
○群山、大阪行
土海丸 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

## 汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行
小倉丸 十月廿六日後五時出帆
○元山城津浦鹽行
小倉丸 十月 日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行
立神丸 十月十九日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
立神丸 十月廿八日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 十月廿二日後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸 十月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸 毎月二日九日十六日廿三日廿日 午後十時出帆
釜山本町五丁目 本船取扱店 大池回漕部

## 阿波共同汽船仁川出帆

第十共同丸 十月 日後七時入港
芝罘、大連行 十月十五日前九時出港
(神戶鎭南浦ヨリ隔ニテ芝罘、大連ニテ青島行定期船ニ接續ス荷客運輸御取扱仕候 貨物通し運賃ニテ御取扱可仕候)

第一阪鶴丸 月 日後九時入港
城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 月 日出港
(元山出帆)

第三共同丸 十月十五日
西湖津沿岸各港を經て雄基行 十月十六日前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部 (電話二四七番)
京城取次店 南大門電話(一六八、二〇一七) 河村運送店

## 大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航航路(沿岸航路を除く)の連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
宮島丸 十月十九日 午後五時出帆
漢城丸 十月廿二日
漳州丸 十月廿六日

○木浦、釜山、長崎行▲は鹿原廻り浦に寄港
安東丸 十月廿四日 午後二時出帆
▲天智丸 十月十八日

○鎭南浦、大連行
安東丸 十月二十日 午後二時出帆
天智丸 十月廿八日

○鎭南浦關門神戶大阪行
月 日 正午五時出帆
月 日

○群山、釜山、横濱行
千珠丸 十一月一日 午後四時出帆
チヨイサン丸 十月廿一日

○大連直行
千珠丸 十月廿七日 正午出帆
チヨイサン丸 十月十六日

○清津、浦潮行(元山出帆)
▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
久宮丸 十月十九日 午後九時出帆
地宮丸 十月廿九日
▲城津丸 十一月四日

○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸 十月廿九日 午後四時出帆
新高丸 十一月六日

御注意
○朝鮮國道及南滿洲鐵道會社との連絡切符發賣仕候
○貨物乘船客は本船出帆約一時間前に荷物御送り御取消し可被下候
○×印は一等客御斷り△印は開客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番 二二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番